

科目名	Vtuber マネジメント (1)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	禰好亭 めてお
学科・専攻	スーパーeエンターテイメント科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴	2019年よりバーチャルYouTuberとしての活動を開始。現在はYouTube等での悩み相談配信や情報発信活動の他、イベントMC、TVやラジオへの出演、専門雑誌などでのコラム執筆等の依頼も受けている。講師実績は300コマを突破。						
授業の学習 内容	VTuberやネットアーティストとして活動していく上で大切な基礎知識をはじめとして、「リテラシー」「SNSの運用」「ビジネスマナー」「マネタイズ」「ブランディング」「セルフプロデュース」「企画実行力」等を中心として、1人の活動でも事務所に所属しても、タレントとしてやっていけるスキルを学び、裏方でもやっていける実力を培う土台とする。						
到達目標	・インフルエンサーとして活動するための土台をつくる ・SNS活用のリスクを知った上で着実に伸ばす知識をつける ・自身で企画した配信やイベントを実行する力を培う ・将来を考えて目標を立て、それに向かって進む準備を整える						
評価方法と基準	出席 意欲 課題提出や実技等						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	オリエンテーション(前期)	様々なエンターテインメントを摂取する
2		講義・演習	SNSマーケティングとリスクについて	SNSを動かしてみる
3		講義・演習	炎上対策とその必要性	SNSでの様々なトラブルについて気にかけてみる
4		講義・演習	自己表現の必要性和トレーニング	ロールモデルとなる人を見つける
5		講義・演習	リスク管理(SNSリテラシー)	日々のリスクについて日常で意識してみる
6		講義・演習	YouTubeのアルゴリズム	YouTube視聴の際に何故クリックしたのかを考える
7		講義・演習	YouTubeのアルゴリズムからの戦略	自分だったらどうするか考えながらYouTubeを見る
8		講義・演習	SNSマーケティング	普段見るYouTube動画のタイトルに着目してみる
9		講義・演習	自己分析とブランディング	自分の好きな事・嫌いな事を明確にする
10		講義・演習	トークスキルを紐解く	推し配信者を見てトークの何が面白いのか考察する
11		講義・演習	案件受注と企業対応	どんなPRなら自分が課金してもいいのか考える
12		講義・演習	ショート動画基礎	ショート動画をみて何故その動画が面白いのか考察
13		講義・演習	前期のまとめと質疑応答	休み前に聞いておきたい事をまとめておく
14		講義・演習	イベント・実戦を通して、達成感やチームワークを学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実戦を通して、達成感やチームワークを学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Vtuber マネジメント (2)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	禰好亭 めてお
学科・専攻	スーパーeエンターテイメント科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴	2019年よりバーチャルYouTuberとしての活動を開始。現在はYouTube等での悩み相談配信や情報発信活動の他、イベントMC、TVやラジオへの出演、専門雑誌などでのコラム執筆等の依頼も受けている。講師実績は300コマを突破。						
授業の学習 内容	VTuberやネットアーティストとして活動していく上で大切な基礎知識をはじめとして、「リテラシー」「SNSの運用」「ビジネスマナー」「マネタイズ」「ブランディング」「セルフプロデュース」「企画実行力」等を中心として、1人の活動でも事務所に所属しても、タレントとしてやっていけるスキルを学び、裏方でもやっていける実力を培う土台とする。						
到達目標	・インフルエンサーとして活動するための土台をつくる ・SNS活用のリスクを知った上で着実に伸ばす知識をつける ・自身で企画した配信やイベントを実行する力を培う ・将来を考えて目標を立て、それに向かって進む準備を整える						
評価方法と基準	出席 意欲 課題提出や実技等						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	前期の振り返り	前期学んで実行したことをまとめておく
2		講義・演習	前期の試験課題についての考察	様々なリスクについて意識してSNSを利用する
3		講義・演習	コラボ企画と大型企画	将来の目標について
4		講義・演習	コラボ企画立案①(企画)	コラボ企画をYouTube等で見てみる
5		講義・演習	コラボ企画立案②(計画/依頼/広報/プレスリリース)	次回の発表に向けた準備
6		講義・演習	コラボ企画立案③(発表)	やってみての振り返りを自分なりにまとめておく
7		講義・演習	業界に関わる職種	業界の裏方にどんな仕事があるか想像する
8		講義・演習	マネタイズとビジネス展開	ロールモデルの人がどう稼いでるか考察する
9		講義・演習	サムネイルについての考察	YouTubeで伸びているものを見て学ぶ
10		講義・演習	トークスキルについての振り返りと1分間スピーチ	日頃から語れるネタを集めておく
11		講義・演習	ポートフォリオの必要性和制作	まとめられる実績は書き出しておく
12		講義・演習	2026年の目標設定と将来設計	2026年の目標を立てる
13		講義・演習	後期の振り返りとまとめ	最後に質問したい事をまとめておく
14		講義・演習	イベント・実戦を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実戦を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Vtuber マネジメント (3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	禰好亭 めてお
学科・専攻	スーパーeエンターテイメント科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴	2019年よりバーチャルYouTuberとしての活動を開始。現在はYouTube等での悩み相談配信や情報発信活動の他、イベントMC、TVやラジオへの出演、専門雑誌などでのコラム執筆等の依頼も受けている。講師実績は300コマを突破。						
授業の学習 内容	VTuberやネットアーティストとして活動していく上で大切な基礎知識をはじめとして、「リテラシー」「SNSの運用」「ビジネスマナー」「マネタイズ」「ブランディング」「セルフプロデュース」「企画実行力」等を中心として、1人の活動でも事務所に所属しても、タレントとしてやっていけるスキルを学び、裏方でもやっていける実力を培う土台とする。						
到達目標	・インフルエンサーとして活動するための土台をつくる ・SNS活用のリスクを知った上で着実に伸ばす知識をつける ・自身で企画した配信やイベントを実行する力を培う ・将来を考えて目標を立て、それに向かって進む準備を整える						
評価方法と基準	出席 意欲 課題提出や実技等						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	オリエンテーション(前期)	様々なエンターテインメントを摂取する
2		講義・演習	SNSマーケティングとリスクについて	SNSを動かしてみる
3		講義・演習	炎上対策とその必要性	SNSでの様々なトラブルについて気にかけてみる
4		講義・演習	自己表現の必要性和トレーニング	ロールモデルとなる人を見つける
5		講義・演習	リスク管理(SNSリテラシー)	日々のリスクについて日常で意識してみる
6		講義・演習	YouTubeのアルゴリズム	YouTube視聴の際に何故クリックしたのかを考える
7		講義・演習	YouTubeのアルゴリズムからの戦略	自分だったらどうするか考えながらYouTubeを見る
8		講義・演習	SNSマーケティング	普段見るYouTube動画のタイトルに着目してみる
9		講義・演習	自己分析とブランディング	自分の好きな事・嫌いな事を明確にする
10		講義・演習	トークスキルを紐解く	推し配信者を見てトークの何が面白いのか考察する
11		講義・演習	案件受注と企業対応	どんなPRなら自分が課金してもいいのか考える
12		講義・演習	ショート動画基礎	ショート動画をみて何故その動画が面白いのか考察
13		講義・演習	前期のまとめと質疑応答	休み前に聞いておきたい事をまとめておく
14		講義・演習	イベント・実戦を通して、達成感やチームワークを学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実戦を通して、達成感やチームワークを学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Vtuber マネジメント (4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	禰好亭 めてお
学科・専攻	スーパーeエンターテイメント科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴	2019年よりバーチャルYouTuberとしての活動を開始。現在はYouTube等での悩み相談配信や情報発信活動の他、イベントMC、TVやラジオへの出演、専門雑誌などでのコラム執筆等の依頼も受けている。講師実績は300コマを突破。						
授業の学習 内容	VTuberやネットアーティストとして活動していく上で大切な基礎知識をはじめとして、「リテラシー」「SNSの運用」「ビジネスマナー」「マネタイズ」「ブランディング」「セルフプロデュース」「企画実行力」等を中心として、1人の活動でも事務所に所属しても、タレントとしてやっていけるスキルを学び、裏方でもやっていける実力を培う土台とする。						
到達目標	・インフルエンサーとして活動するための土台をつくる ・SNS活用のリスクを知った上で着実に伸ばす知識をつける ・自身で企画した配信やイベントを実行する力を培う ・将来を考えて目標を立て、それに向かって進む準備を整える						
評価方法と基準	出席 意欲 課題提出や実技等						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	前期の振り返り	前期学んで実行したことをまとめておく
2		講義・演習	前期の試験課題についての考察	様々なリスクについて意識してSNSを利用する
3		講義・演習	コラボ企画と大型企画	将来の目標について
4		講義・演習	コラボ企画立案①(企画)	コラボ企画をYouTube等で見てみる
5		講義・演習	コラボ企画立案②(計画/依頼/広報/プレスリリース)	次の発表に向けた準備
6		講義・演習	コラボ企画立案③(発表)	やってみての振り返りを自分なりにまとめておく
7		講義・演習	業界に関わる職種	業界の裏方にどんな仕事があるか想像する
8		講義・演習	マネタイズとビジネス展開	ロールモデルの人がどう稼いでいるか考察する
9		講義・演習	サムネイルについての考察	YouTubeで伸びているものを見て学ぶ
10		講義・演習	トークスキルについての振り返りと1分間スピーチ	日頃から語れるネタを集めておく
11		講義・演習	ポートフォリオの必要性和制作	まとめられる実績は書き出しておく
12		講義・演習	2026年の目標設定と将来設計	2026年の目標を立てる
13		講義・演習	後期の振り返りとまとめ	最後に質問したい事をまとめておく
14		講義・演習	イベント・実戦を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実戦を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Vtuber マネジメント (5)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	禰好亭 めてお
学科・専攻	スーパーeエンターテイメント科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴	2019年よりバーチャルYouTuberとしての活動を開始。現在はYouTube等での悩み相談配信や情報発信活動の他、イベントMC、TVやラジオへの出演、専門雑誌などでのコラム執筆等の依頼も受けている。講師実績は300コマを突破。						
授業の学習 内容	VTuberやネットアーティストとして活動していく上で大切な基礎知識をはじめとして、「リテラシー」「SNSの運用」「ビジネスマナー」「マネタイズ」「ブランディング」「セルフプロデュース」「企画実行力」等を中心として、1人の活動でも事務所に所属しても、タレントとしてやっていけるスキルを学び、裏方でもやっていける実力を培う土台とする。						
到達目標	・インフルエンサーとして活動するための土台をつくる ・SNS活用のリスクを知った上で着実に伸ばす知識をつける ・自身で企画した配信やイベントを実行する力を培う ・将来を考えて目標を立て、それに向かって進む準備を整える						
評価方法と基準	出席 意欲 課題提出や実技等						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	オリエンテーション(前期)	様々なエンターテインメントを摂取する
2		講義・演習	SNSマーケティングとリスクについて	SNSを動かしてみる
3		講義・演習	炎上対策とその必要性	SNSでの様々なトラブルについて気にかけてみる
4		講義・演習	自己表現の必要性和トレーニング	ロールモデルとなる人を見つける
5		講義・演習	リスク管理(SNSリテラシー)	日々のリスクについて日常で意識してみる
6		講義・演習	YouTubeのアルゴリズム	YouTube視聴の際に何故クリックしたのかを考える
7		講義・演習	YouTubeのアルゴリズムからの戦略	自分だったらどうするか考えながらYouTubeを見る
8		講義・演習	SNSマーケティング	普段見るYouTube動画のタイトルに着目してみる
9		講義・演習	自己分析とブランディング	自分の好きな事・嫌いな事を明確にする
10		講義・演習	トークスキルを紐解く	推し配信者を見てトークの何が面白いのか考察する
11		講義・演習	案件受注と企業対応	どんなPRなら自分が課金してもいいのか考える
12		講義・演習	ショート動画基礎	ショート動画をみて何故その動画が面白いのか考察
13		講義・演習	前期のまとめと質疑応答	休み前に聞いておきたい事をまとめておく
14		講義・演習	イベント・実戦を通して、達成感やチームワークを学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実戦を通して、達成感やチームワークを学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Vtuber マネジメント (6)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	禰好亭 めてお
学科・専攻	スーパーeエンターテイメント科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴	2019年よりバーチャルYouTuberとしての活動を開始。現在はYouTube等での悩み相談配信や情報発信活動の他、イベントMC、TVやラジオへの出演、専門雑誌などでのコラム執筆等の依頼も受けている。講師実績は300コマを突破。						
授業の学習 内容	VTuberやネットアーティストとして活動していく上で大切な基礎知識をはじめとして、「リテラシー」「SNSの運用」「ビジネスマナー」「マネタイズ」「ブランディング」「セルフプロデュース」「企画実行力」等を中心として、1人の活動でも事務所に所属しても、タレントとしてやっていけるスキルを学び、裏方でもやっていける実力を培う土台とする。						
到達目標	・インフルエンサーとして活動するための土台をつくる ・SNS活用のリスクを知った上で着実に伸ばす知識をつける ・自身で企画した配信やイベントを実行する力を培う ・将来を考えて目標を立て、それに向かって進む準備を整える						
評価方法と基準	出席 意欲 課題提出や実技等						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	前期の振り返り	前期学んで実行したことをまとめておく
2		講義・演習	前期の試験課題についての考察	様々なリスクについて意識してSNSを利用する
3		講義・演習	コラボ企画と大型企画	将来の目標について
4		講義・演習	コラボ企画立案①(企画)	コラボ企画をYouTube等で見てみる
5		講義・演習	コラボ企画立案②(計画/依頼/広報/プレスリリース)	次回の発表に向けた準備
6		講義・演習	コラボ企画立案③(発表)	やってみての振り返りを自分なりにまとめておく
7		講義・演習	業界に関わる職種	業界の裏方にどんな仕事があるか想像する
8		講義・演習	マネタイズとビジネス展開	ロールモデルの人がどう稼いでいるか考察する
9		講義・演習	サムネイルについての考察	YouTubeで伸びているものを見て学ぶ
10		講義・演習	トークスキルについての振り返りと1分間スピーチ	日頃から語れるネタを集めておく
11		講義・演習	ポートフォリオの必要性和制作	まとめられる実績は書き出しておく
12		講義・演習	2026年の目標設定と将来設計	2026年の目標を立てる
13		講義・演習	後期の振り返りとまとめ	最後に質問したい事をまとめておく
14		講義・演習	イベント・実戦を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実戦を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	J-POP Ensembleゼミ (7)	必修 選択	選択必修	年次	4	担当教員	酒井俊光
学科・専攻	スーパーeエンターテイメント科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 4単位		
教員の略歴	2009年よりTOSHI、高橋優、ケラケラなどのレコーディングやライブサポートのギタリストとして活躍						
授業の学習 内容	本授業は、現代のJ-Pop演奏で頻繁に用いられる同期音源(クリックや同期トラック)を使用した演奏において、的確かつ自然に演奏を行う能力を養成することを目的とする。各種同期音源を実際に使用し、クリックを聞きながらバンドメンバーと協調して演奏する能力を身につける。						
到達目標	・クリックを聴きながら正確なリズムキープができる ・同期音源と生演奏を自然に融合させ、違和感なく演奏できる ・バンド全体でのリズム・グルーヴの共有を高める						
評価方法と基準	・授業参加度(出席・演習への積極性):40% ・中間発表演奏:20% ・最終発表演奏:40%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	授業オリエンテーション、同期音源とは何か	同期音源についてレポート作成
2		講義・演習	クリックトラックに合わせてのリズムトレーニング	リズムトレーニングを実施
3		講義・演習	同期音源を取り入れた演奏練習①（前半）	楽曲練習
4		講義・演習	同期音源を取り入れた演奏練習①（後半）	楽曲練習
5		講義・演習	同期音源を取り入れた演奏練習②（前半）	楽曲練習
6		講義・演習	同期音源を取り入れた演奏練習②（後半）	楽曲練習
7		講義・演習	同期音源を取り入れた演奏練習③（前半）	楽曲練習
8		講義・演習	同期音源を取り入れた演奏練習③（後半）	楽曲練習
9		講義・演習	同期音源を取り入れた演奏練習④（前半）	楽曲練習
10		講義・演習	同期音源を取り入れた演奏練習④（後半）	楽曲練習
11		講義・演習	同期音源を取り入れた演奏練習⑤（前半）	楽曲練習
12		講義・演習	同期音源を取り入れた演奏練習⑤（後半）	楽曲練習
13		講義・演習	前期総括演奏	楽曲練習
14		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	J-POP Ensembleゼミ (8)	必修 選択	選択必修	年次	4	担当教員	酒井俊光
学科・専攻	スーパーeエンターテイメント科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 4単位		
教員の略歴	2009年よりTOSHI、高橋優、ケラケラなどのレコーディングやライブサポートのギタリストとして活躍						
授業の学習 内容	本授業は、現代のJ-Pop演奏で頻繁に用いられる同期音源(クリックや同期トラック)を使用した演奏において、的確かつ自然に演奏を行う能力を養成することを目的とする。各種同期音源を実際に使用し、クリックを聞きながらバンドメンバーと協調して演奏する能力を身につける。						
到達目標	・クリックを聴きながら正確なリズムキープができる ・同期音源と生演奏を自然に融合させ、違和感なく演奏できる ・バンド全体でのリズム・グルーヴの共有を高める						
評価方法と基準	・授業参加度(出席・演習への積極性):40% ・中間発表演奏:20% ・最終発表演奏:40%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	後期オリエンテーション・課題曲の提示	課題曲をまとめる
2		講義・演習	楽曲内でのテンポ・拍子の変更への対応(基礎編)	楽曲練習
3		講義・演習	同期音源を取り入れた演奏練習①(前半)	楽曲練習
4		講義・演習	同期音源を取り入れた演奏練習①(後半)	楽曲練習
5		講義・演習	同期音源を取り入れた演奏練習②(前半)	楽曲練習
6		講義・演習	同期音源を取り入れた演奏練習②(後半)	楽曲練習
7		講義・演習	同期音源を取り入れた演奏練習③(前半)	楽曲練習
8		講義・演習	同期音源を取り入れた演奏練習③(後半)	楽曲練習
9		講義・演習	同期音源を取り入れた演奏練習④(前半)	楽曲練習
10		講義・演習	同期音源を取り入れた演奏練習④(後半)	楽曲練習
11		講義・演習	同期音源を取り入れた演奏練習⑤(前半)	楽曲練習
12		講義・演習	同期音源を取り入れた演奏練習⑤(後半)	楽曲練習
13		講義・演習	最終発表フィードバック・授業のまとめ	楽曲練習
14		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	VT Advance(7)	必修 選択	選択必修	年次	4	担当教員	近原淳博
学科・専攻	スーパーeエンターテイメント科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴	ゴスペルグループSOULMATICSのメンバーとして多くのアーティスト・ミュージシャンと共演し、音楽活動を行う。						
授業の学習 内容	ヴォーカリストで活躍していく為には幅広い表現力が必要となる。本講義ではヴォーカリスにおける応用とそのスキルを学び、実際に表現に繋げていけるようにする。						
到達目標	音楽業界で活躍していく為に必要なヴォーカリストの応用と活用方法を習得し実践できるようになる。						
評価方法と基準	実技による採点100%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	音符、休符の長さの説明。簡単なリズムとメロディーを実践できる口	音符、休符の長さの説明。簡単なリズムとメロディーを動画チェック
2		講義・演習	高度な歌唱→4分音符のメロディーC～Fまでを歌う	歌唱→4分音符のメロディーC～Fまでを動画チェックする
3		講義・演習	高度な歌唱→4分音符のメロディーC～Fまでを歌う	歌唱→4分音符のメロディーC～Fまでを動画チェック
4		講義・演習	メロディーC～Gまでを歌い実践できる。	メロディーC～Gまでを動画チェックする
5		講義・演習	高度な歌唱→4分音符のメロディーC～Gまでを歌い実践できる。	歌唱→4分音符のメロディーC～Gまでを歌い動画チェックする
6		講義・演習	高度な歌唱→4分音符・2分音符のメロディーC～Aを歌い実践できる。	歌唱→4分音符・2分音符のメロディーC～Aを歌い動画チェックする
7		講義・演習	高度な歌唱→4分音符・2分音符のメロディーC～Aを歌い実践できる。	歌唱→4分音符・2分音符のメロディーC～Aを歌い動画チェックする
8		講義・演習	全音符・2分音符・付点2分音符のメロディーC～上のCまでを歌い実践できる。	全音符・2分音符・付点2分音符のメロディーC～上のCまでを歌い動画チェックする
9		講義・演習	高度な歌唱→全音符・2分音符・付点2分音符のメロディーC～上のCまでを歌い実践できる。	歌唱→全音符・2分音符・付点2分音符のメロディーC～上のCまでを歌い動画チェックする
10		講義・演習	高度な歌唱→タイ・8分音符を含めたメロディーC～上のCまでを歌い実践できる。	歌唱→タイ・8分音符を含めたメロディーC～上のCまでを歌い動画チェックする
11		講義・演習	歌唱→タイ・8分音符を含めたメロディーC～上のCまでを歌い実践できる。	歌唱→タイ・8分音符を含めたメロディーC～上のCまでを歌い動画チェックする
12		講義・演習	アカペラアンサンブルを学び実践できる口	アカペラアンサンブルを動画チェックする
13		講義・演習	試験	これまでの動画を確認し、成果をレポートにまとめる
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			ヴォーカルに必要なスキルの習得するための自習を行いまたチェックする、週4時間をかける。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	VT Advance(8)	必修 選択	選択必修	年次	4	担当教員	近原淳博
学科・専攻	スーパーeエンターテイメント科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴	ゴスペルグループSOULMATICSのメンバーとして多くのアーティスト・ミュージシャンと共演し、音楽活動を行う。						
授業の学習 内容	ヴォーカリストで活躍していく為には幅広い表現力が必要となる。本講義ではヴォーカリスにおける応用とそのスキルを学び、実際に表現に繋げていけるようにする。						
到達目標	音楽業界で活躍していく為に必要なヴォーカリストの応用と活用方法を習得し実践できるようになる。						
評価方法と基準	実技による採点100%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	音符、休符の長さの説明。簡単なリズムとメロディーを実践できる	音符、休符の長さの説明。簡単なリズムとメロディーを動画チェック
2		講義・演習	歌唱→4分音符のメロディーC～Fまでを歌う	歌唱→4分音符のメロディーC～Fまでを動画チェックする
3		講義・演習	歌唱→4分音符のメロディーC～Fまでを歌う	歌唱→4分音符のメロディーC～Fまでを動画チェック
4		講義・演習	メロディーC～Gまでを歌い実践できる。	メロディーC～Gまでを動画チェックする
5		講義・演習	高度な歌唱歌唱→4分音符のメロディーC～Gまでを歌い実践できる。	歌唱→4分音符のメロディーC～Gまでを歌い動画チェックする
6		講義・演習	高度な歌唱歌唱→4分音符・2分音符のメロディーC～Aを歌い実践できる。	歌唱→4分音符・2分音符のメロディーC～Aを歌い動画チェックする
7		講義・演習	高度な歌唱歌唱→4分音符・2分音符のメロディーC～Aを歌い実践できる。	歌唱→4分音符・2分音符のメロディーC～Aを歌い動画チェックする
8		講義・演習	全音符・2分音符・付点2分音符のメロディーC～上のCまでを歌い実践できる。	全音符・2分音符・付点2分音符のメロディーC～上のCまでを歌い動画チェックする
9		講義・演習	高度な歌唱歌唱→全音符・2分音符・付点2分音符のメロディーC～上のCまでを歌い実践できる。	歌唱→全音符・2分音符・付点2分音符のメロディーC～上のCまでを歌い動画チェックする
10		講義・演習	高度な歌唱歌唱→タイ・8分音符を含めたメロディーC～上のCまでを歌い実践できる。	歌唱→タイ・8分音符を含めたメロディーC～上のCまでを歌い動画チェックする
11		講義・演習	高度な歌唱歌唱→タイ・8分音符を含めたメロディーC～上のCまでを歌い実践できる。	歌唱→タイ・8分音符を含めたメロディーC～上のCまでを歌い動画チェックする
12		講義・演習	高度な歌唱アカペラアンサンブルを学び実践できる	アカペラアンサンブルを動画チェックする
13		講義・演習	試験	これまでの動画を確認し、成果をレポートにまとめる
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			ヴォーカルに必要なスキルの習得するための自習を行いまたチェックする、週4時間をかける。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	CPM Ensemble Style&Analysis (7)	必修 選択	選択必修	年次	4	担当教員	クリス・ ジャーガン セン
学科・専攻	スーパーeエンターテイメント科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴	世界三大ギタリストの一人であるJEFF BECKのトリビュートアルバムへの参加など、数多くの世界的プレイヤーとのセッション、レコーディング等で40年以上ギタリストとして活躍、国内ではシンガーソングライター「miwa」のバンドに参加。□						
授業の学習 内容	Contemporary Popular Music Ensemble。6週間ごとにジャンル別アンサンブルを行っていく。 1年を通じて、①BLUES→②SOUL→③ROCK→④FUNKと進み、毎週2曲ずつ課題曲が更新されていきます。 各ジャンルに特化した講師による指導が行われ、6週目は発表会形式のアウトプットを実施することで本番経験を踏んでいく。 ジャンル別の奏法を学びながら、バンドで演奏することの楽しさを知り、リズムの大切さ、グルーヴ感、音量調整、サウンド作り、バンドコミュニケーション、パフォーマンスを養っていきます。さらには、レパートリーを持つことで、将来現場でセッションする機会があった際に活かせること、楽譜の読み書きや音楽理論を理解する場とします。						
到達目標	BLUES、SOUL、ROCK、FUNK等の楽曲をアンサンブルを通して表現できるようになる。また、リズム感、グルーヴ感、パフォーマンス力を向上し、バンドとして一体感を持って表現するスキルを身につける。さらには、主体性を持ってリハーサルに取り組む、メンバー同士でコミュニケーションを取りながら楽曲全体のクオリティを向上させる意識と行動力を持つことを目標とします。□						
評価方法と基準	初回授業から中間発表までの個々の成長度を以下の項目を基準にして採点を行う。 ①出席 50点 ②ミュージシャンスキル 10点 ③パフォーマンス 10点 ④コミュニケーション 10点 ⑤準備 10点 ⑥サウンド 10点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	Bluesのアンサンブル第1週目。12小節ブルースソング2曲のアナライズ。	授業で行った楽曲の復習と次回曲の予習
2		講義・演習	Bluesのアンサンブル第2週目。12小節ブルースソング2曲のアナライズ。	授業で行った楽曲の復習と次回曲の予習
3		講義・演習	Bluesのアンサンブル第3週目。8小節ブルースソング2曲のアナライズ。	授業で行った楽曲の復習と次回曲の予習
4		講義・演習	Bluesのアンサンブル第4週目。マイナーブルース2曲のアナライズ。	授業で行った楽曲の復習と次回曲の予習
5		講義・演習	Bluesのアンサンブル第5週目。スローブルース2曲のアナライズ。	授業で行った楽曲の復習と発表会担当曲の練習
6		講義・演習	Bluesのアンサンブルの発表会を行う。	発表会での演奏について検証し、問題点克服に向けて練習する。
7		講義・演習	Soulのアンサンブル第1週目。簡単なSoulナンバーStand By Meのアンサンブルと次回曲のアナライズ。	授業で行った楽曲の復習と次回曲の予習
8		講義・演習	Soulのアンサンブル第2週目。SoulナンバーUnit2課題曲のアナライズ。	授業で行った楽曲の復習と次回曲の予習
9		講義・演習	Soulのアンサンブル第3週目。SoulナンバーUnit3課題曲のアナライズ。	授業で行った楽曲の復習と次回曲の予習
10		講義・演習	Soulのアンサンブル第4週目。SoulナンバーUnit4課題曲のアナライズ。	授業で行った楽曲の復習と次回曲の予習
11		講義・演習	Soulのアンサンブル第5週目。SoulナンバーUnit5のアナライズ。発表会担当曲決め。	授業で行った楽曲の復習と発表会担当曲の練習
12		講義・演習	Soulのアンサンブルの発表会を行う。	発表会での演奏について検証し、問題点克服に向けて練習する。
13		講義・演習	次回Rockアンサンブルに向けた課題曲のアナライズ。	授業で行った楽曲の復習と次回曲の予習
14		講義・演習	イベント・実戦を通して、達成感やチームワークを学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実戦を通して、達成感やチームワークを学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			課題曲の音源、スコアを確認して、授業前に個人練習しておく。各ジャンルの有名アーティストや有名曲を視聴し、分析する。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	CPM Ensemble Style&Analysis (8)	必修 選択	選択必修	年次	4	担当教員	クリス ジャーガン セン
学科・専攻	スーパーeエンターテイメント科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴	世界三大ギタリストの一人であるJEFF BECKのトリビュートアルバムへの参加など、数多くの世界的プレイヤーとのセッション、レコーディング等でギタリストとして活躍、国内ではシンガーソングライター「miwa」のバンドに参加。						
授業の学習 内容	Contemporary Popular Music Ensemble。6週間ごとにジャンル別アンサンブルを行っていく。 1年を通じて、①BLUES→②SOUL→③ROCK→④FUNKと進み、毎週2曲ずつ課題曲が更新されていきます。 各ジャンルに特化した講師による指導が行われ、6週目は発表会形式のアウトプットを実施することで本番経験を踏んでいく。 ジャンル別の奏法を学びながら、バンドで演奏することの楽しさを知り、リズムの大切さ、グルーヴ感、音量調整、サウンド作り、バンドコミュニケーション、パフォーマンスを養っていきます。さらには、レパートリーを持つことで、将来現場でセッションする機会があった際に活かせること、楽譜の読み書きや音楽理論を理解する場とします。						
到達目標	BLUES、SOUL、ROCK、FUNK等の楽曲をアンサンブルを通して表現できるようになる。また、リズム感、グルーヴ感、パフォーマンス力を向上し、バンドとして一体感を持って表現するスキルを身につける。さらには、主体性を持ってリハーサルに取り組み、メンバー同士でコミュニケーションを取りながら楽曲全体のクオリティを向上させる意識と行動力を持つことを目標とします。						
評価方法と基準	初回授業から中間発表までの個々の成長度を以下の項目を基準にして採点を行う。 ①出席 50点 ②ミュージシャンスキル 10点 ③パフォーマンス 10点 ④コミュニケーション 10点 ⑤準備 10点 ⑥サウンド 10点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	Rockのアンサンブル第1週目。50年代Rock2曲のスタイル&アナライズ。	授業で行った楽曲の復習と次回曲の予習
2		講義・演習	Rockのアンサンブル第1週目。60年代Rock2曲のスタイル&アナライズ。	授業で行った楽曲の復習と次回曲の予習
3		講義・演習	Rockのアンサンブル第1週目。70年代Rock2曲のスタイル&アナライズ。	授業で行った楽曲の復習と次回曲の予習
4		講義・演習	Rockのアンサンブル第1週目。80年代Rock2曲のスタイル&アナライズ。	授業で行った楽曲の復習と次回曲の予習
5		講義・演習	Rockのアンサンブル第1週目。90年代Rock2曲のスタイル&アナライズ。	授業で行った楽曲の復習と発表会担当曲の練習
6		講義・演習	Rockのアンサンブルの発表会を行う。	発表会での演奏について検証し、問題点克服に向けて練習
7		講義・演習	Funkのアンサンブル第1週目。簡単なFunk Tune (Unit1) のスタイル&アナライズ。	授業で行った楽曲の復習と次回曲の予習
8		講義・演習	Funkのアンサンブル第2週目。Funk Tune Unit2課題曲のスタイル&アナライズ。	授業で行った楽曲の復習と次回曲の予習
9		講義・演習	Funkのアンサンブル第2週目。Funk Tune Unit3課題曲のスタイル&アナライズ。	授業で行った楽曲の復習と次回曲の予習
10		講義・演習	Funkのアンサンブル第2週目。Funk Tune Unit4課題曲のスタイル&アナライズ。	授業で行った楽曲の復習と次回曲の予習
11		講義・演習	Funkのアンサンブル第2週目。Funk Tune Unit5課題曲のスタイル&アナライズ。	授業で行った楽曲の復習と発表会担当曲の練習
12		講義・演習	Funkのアンサンブルの発表会を行う。	発表会での演奏について検証し、問題点克服に向けて練習
13		講義・演習	1年間で学んだ楽曲でセッションを行う。	授業で行った楽曲の復習と次回曲の予習
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			課題曲の音源、スコアを確認して、授業前に個人練習しておく。各ジャンルの有名アーティストや有名曲を視聴し、分析する。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	CPM Ensemble (7)	必修 選択	選択必修	年次	4	担当教員	クリス・ ジャーガン セン
学科・専攻	スーパーeエンターテインメント科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴	世界三大ギタリストの一人であるJEFF BECKのトリビュートアルバムへの参加など、数多くの世界的プレイヤーとのセッション、レコーディング等で40年以上ギタリストとして活躍、国内ではシンガーソングライター「miwa」のバンドに参加。□						
授業の学習 内容	Contemporary Popular Music Ensemble。6週間ごとにジャンル別アンサンブルを行っていく。 1年を通じて、①BLUES→②SOUL→③ROCK→③FUNKと進み、毎週2曲ずつ課題曲が更新されていきます。 各ジャンルに特化した講師による指導が行われ、6週目は発表会形式のアウトプットを実施することで本番経験を踏んでいく。 ジャンル別の奏法を学びながら、バンドで演奏することの楽しさを知り、リズムの大切さ、グルーヴ感、音量調整、サウンド作り、バンドコミュニケーション、パフォーマンスを養っていきます。さらには、レパートリーを持つことで、将来現場でセッションする機会があった際に活かせること、楽譜の読み書きや音楽理論を理解する場とします。						
到達目標	BLUES、SOUL、ROCK、FUNK等の楽曲をアンサンブルを通して表現できるようになる。また、リズム感、グルーヴ感、パフォーマンス力を向上し、バンドとして一体感を持って表現するスキルを身につける。さらには、主体性を持ってリハーサルに取り組む、メンバー同士でコミュニケーションを取りながら楽曲全体のクオリティを向上させる意識と行動力を持つことを目標とします。						
評価方法と基準	初回授業から中間発表までの個々の成長度を以下の項目を基準にして採点を行う。 ①出席 50点 ②ミュージシャンスキル 10点 ③パフォーマンス 10点 ④コミュニケーション 10点 ⑤準備 10点 ⑥サウンド 10点						

授業計画・内容					
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)	
1		講義・演習	Bluesのアンサンブル第1週目。12小節ブルースソング2曲のアンサンブル。□	授業で行った楽曲の復習と次回曲の予習	
2		講義・演習	Bluesのアンサンブル第2週目。12小節ブルースソング2曲のアンサンブル。	授業で行った楽曲の復習と次回曲の予習	
3		講義・演習	Bluesのアンサンブル第3週目。8小節ブルースソング2曲のアンサンブル。	授業で行った楽曲の復習と次回曲の予習	
4		講義・演習	Bluesのアンサンブル第4週目。マイナーブルース2曲のアンサンブル。	授業で行った楽曲の復習と次回曲の予習	
5		講義・演習	Bluesのアンサンブル第5週目。スローブルース2曲のアンサンブル。	授業で行った楽曲の復習と発表会担当曲の練習	
6		講義・演習	Bluesのアンサンブルの発表会を行う。	発表会での演奏について検証し、問題点克服に向けて練習する。	
7		講義・演習	Soulのアンサンブル第1週目。簡単なSoulナンバーStand By Meのアンサンブルと次回曲のアナライズ。	授業で行った楽曲の復習と次回曲の予習	
8		講義・演習	Soulのアンサンブル第2週目。SoulナンバーUnit2課題曲のアンサンブル。	授業で行った楽曲の復習と次回曲の予習	
9		講義・演習	Soulのアンサンブル第3週目。SoulナンバーUnit3課題曲のアンサンブル。	授業で行った楽曲の復習と次回曲の予習	
10		講義・演習	Soulのアンサンブル第4週目。SoulナンバーUnit4課題曲のアンサンブル。	授業で行った楽曲の復習と次回曲の予習	
11		講義・演習	Soulのアンサンブル第5週目。SoulナンバーUnit5のアンサンブル。発表会担当曲決め。	授業で行った楽曲の復習と発表会担当曲の練習	
12		講義・演習	Soulのアンサンブルの発表会を行う。	発表会での演奏について検証し、問題点克服に向けて練習する。	
13		講義・演習	次回Rockアンサンブルに向けた課題曲のシンプルな曲のアンサンブル。	授業で行った楽曲の復習と次回曲の予習	
14		講義・演習	イベント・実戦を通して、達成感やチームワークを学ぶ	レポート提出	
15		講義・演習	イベント・実戦を通して、達成感やチームワークを学ぶ	レポート提出	
準備学習 時間外学習			課題曲の音源、スコアを確認して、授業前に個人練習しておく。各ジャンルの有名アーティストや有名曲を視聴し、分析する。		
【使用教科書・教材・参考書】					

科目名	CPM Ensemble (8)	必修 選択	選択必修	年次	4	担当教員	クリス ジャーガン セン
学科・専攻	スーパーeエンターテインメント科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴	世界三大ギタリストの一人であるJEFF BECKのトリビュートアルバムへの参加など、数多くの世界的プレイヤーとのセッション、レコーディング等でギタリストとして活躍、国内ではシンガーソングライター「miwa」のバンドに参加。						
授業の学習 内容	Contemporary Popular Music Ensemble。6週間ごとにジャンル別アンサンブルを行っていく。 1年を通じて、①BLUES→②SOUL→③ROCK→④FUNKと進み、毎週2曲ずつ課題曲が更新されていきます。 各ジャンルに特化した講師による指導が行われ、6週目は発表会形式のアウトプットを実施することで本番経験を踏んでいく。 ジャンル別の奏法を学びながら、バンドで演奏することの楽しさを知り、リズムの大切さ、グルーヴ感、音量調整、サウンド作り、バンドコミュニケーション、パフォーマンスを養っていきます。さらには、レパートリーを持つことで、将来現場でセッションする機会があった際に活かせること、楽譜の読み書きや音楽理論を理解する場とします。						
到達目標	BLUES、SOUL、ROCK、FUNK等の楽曲をアンサンブルを通して表現できるようになる。また、リズム感、グルーヴ感、パフォーマンス力を向上し、バンドとして一体感を持って表現するスキルを身につける。さらには、主体性を持ってリハーサルに取り組む、メンバー同士でコミュニケーションを取りながら楽曲全体のクオリティを向上させる意識と行動力を持つことを目標とします。						
評価方法と基準	初回授業から中間発表までの個々の成長度を以下の項目を基準にして採点を行う。 ①出席 50点 ②ミュージシャンスキル 10点 ③パフォーマンス 10点 ④コミュニケーション 10点 ⑤準備 10点 ⑥サウンド 10点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	Rockのアンサンブル第1週目。50年代Rock2曲のアンサンブル。	授業で行った楽曲の復習と次回曲の予習
2		講義・演習	Rockのアンサンブル第2週目。60年代Rock2曲のアンサンブル。	授業で行った楽曲の復習と次回曲の予習
3		講義・演習	Rockのアンサンブル第3週目。70年代Rock2曲のアンサンブル。	授業で行った楽曲の復習と次回曲の予習
4		講義・演習	Rockのアンサンブル第4週目。80年代Rock2曲のアンサンブル。	授業で行った楽曲の復習と次回曲の予習
5		講義・演習	Rockのアンサンブル第5週目。90年代Rock2曲のアンサンブル。	授業で行った楽曲の復習と発表会担当曲の練習
6		講義・演習	Rockのアンサンブルの発表会を行う。	発表会での演奏について検証し、問題点克服に向けて練習する。
7		講義・演習	Funkのアンサンブル第1週目。簡単なFunk Tune (Unit1) のアンサンブルと次回曲のアナライズ。	授業で行った楽曲の復習と次回曲の予習
8		講義・演習	Funkのアンサンブル第2週目。Funk Tune Unit2課題曲のアンサンブル。	授業で行った楽曲の復習と次回曲の予習
9		講義・演習	Funkのアンサンブル第3週目。Funk Tune Unit3課題曲のアンサンブル。	授業で行った楽曲の復習と次回曲の予習
10		講義・演習	Funkのアンサンブル第4週目。Funk Tune Unit4課題曲のアンサンブル。	授業で行った楽曲の復習と次回曲の予習
11		講義・演習	Funkのアンサンブル第5週目。Funk Tune Unit5課題曲のアンサンブル。	授業で行った楽曲の復習と発表会担当曲の練習
12		講義・演習	Funkのアンサンブルの発表会を行う。	発表会での演奏について検証し、問題点克服に向けて練習する。
13		講義・演習	1年間で学んだ楽曲でセッションを行う。	授業で行った楽曲の復習と次回曲の予習
14		講義・演習	イベント・実戦を通して、達成感やチームワークを学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実戦を通して、達成感やチームワークを学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			課題曲の音源、スコアを確認して、授業前に個人練習しておく。各ジャンルの有名アーティストや有名曲を視聴し、分析する。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Rock Ensemble (7)	必修 選択	選択	年次	4	担当教員	山田 豪
学科・専攻	スーパーeエンターテイメント科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴	ギタリストとして、30年以上活動し、増田恵子(ピンクレディ)、chihiRo-Decoy(JiLL-Decoy association)、Lapis Lazuli、林部智史などのアーティストのレコーディングやライブサポートを務める。						
授業の学習 内容	楽器のみでのアンサンブルを行ってもらい楽器の可能性や演奏することの楽しさを知ってもらう。 楽譜の読書きや理論などのパート毎に行ってきた内容を実践的に使う場とする。						
到達目標	各パートジャンルが分かれている曲を内容に沿った演奏ができることを目標とする。 ソロが弾けることを目標とする。						
評価方法と基準	実技による採点100%						

授業計画・内容					
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)	
1		講義・演習	50年代Rockの課題曲を分析しアンサンブルを行う。	初回アンサンブル曲について譜面と音源を参考に予習しておく。FUNKの名曲を調べてノートにまとめる。	
2		講義・演習	50年代Rockの課題曲を分析しアンサンブルを行う。	授業内で気づいた問題点についての見直しと次回に向けての予習を行う。	
3		講義・演習	60年代Rockの課題曲を分析しアンサンブルを行う。	授業内で気づいた問題点についての見直しと次回に向けての予習を行う。	
4		講義・演習	60年代Rockの課題曲を分析しアンサンブルを行う。	授業内で気づいた問題点についての見直しと次回に向けての予習を行う。	
5		講義・演習	70年代初期Rockの課題曲を分析しアンサンブルを行う。	授業内で気づいた問題点についての見直しと次回に向けての予習を行う。	
6		講義・演習	70年代初期Rockの課題曲を分析しアンサンブルを行う。	授業内で気づいた問題点についての見直しと次回に向けての予習を行う。	
7		講義・演習	70年代中期Rockの課題曲を分析しアンサンブルを行う。	授業内で気づいた問題点についての見直しと次回に向けての予習を行う。	
8		講義・演習	70年代中期Rockの課題曲を分析しアンサンブルを行う。	授業内で気づいた問題点についての見直しと次回に向けての予習を行う。	
9		講義・演習	70年代後期Rockの課題曲を分析しアンサンブルを行う。	授業内で気づいた問題点についての見直しと次回に向けての予習を行う。	
10		講義・演習	70年代後期Rockの課題曲を分析しアンサンブルを行う。	授業内で気づいた問題点についての見直しと次回に向けての予習を行う。	
11		講義・演習	80年代初期Rockの課題曲を分析しアンサンブルを行う。	授業内で気づいた問題点についての見直しと次回に向けての予習を行う。	
12		講義・演習	80年代初期Rockの課題曲を分析しアンサンブルを行う。	授業内で気づいた問題点についての見直しと次回に向けての予習を行う。	
13		講義・演習	実技テスト及び後期内容の復習	1～12をまとめてレポート作成	
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出	
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出	
準備学習 時間外学習			楽器やヴォーカルのROCKスタイルについて理解し、授業の復習と次週課題曲の予習を行う。		
【使用教科書・教材・参考書】					

科目名	Rock Ensemble (8)	必修 選択	選択	年次	4	担当教員	山田 豪
学科・専攻	スーパーeエンターテイメント科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴	ギタリストとして、30年以上活動し、増田恵子(ピンクレディ)、chihiRo-Decoy(JiLL-Decoy association)、Lapis Lazuli、林部智史などのアーティストのレコーディングやライブサポートを務める。						
授業の学習 内容	楽器のみでのアンサンブルを行ってもらい楽器の可能性や演奏することの楽しさを知ってもらう。 楽譜の読書きや理論などのパート毎に行ってきた内容を実践的に使う場とする。						
到達目標	各パートジャンルが分かれている曲を内容に沿った演奏ができることを目標とする。 ソロが弾けることを目標とする。						
評価方法と基準	実技による採点100%						

授業計画・内容					
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)	
1		講義・演習	80年代後期Rockの課題曲を分析しアンサンブルを行う。	授業内で気づいた問題点についての見直しと次回に向けての予習を行う。	
2		講義・演習	80年代後期Rockの課題曲を分析しアンサンブルを行う。	授業内で気づいた問題点についての見直しと次回に向けての予習を行う。	
3		講義・演習	90年代初期Soul&POPSの課題曲を分析しアンサンブルを行う。	授業内で気づいた問題点についての見直しと次回に向けての予習を行う。	
4		講義・演習	90年代初期Soul&POPSの課題曲を分析しアンサンブルを行う。	授業内で気づいた問題点についての見直しと次回に向けての予習を行う。	
5		講義・演習	90年代中期Soul&POPSの課題曲を分析しアンサンブルを行う。	授業内で気づいた問題点についての見直しと次回に向けての予習を行う。	
6		講義・演習	90年代後期Soul&POPSの課題曲を分析しアンサンブルを行う。	授業内で気づいた問題点についての見直しと次回に向けての予習を行う。	
7		講義・演習	90年代後期Soul&POPSの課題曲を分析しアンサンブルを行う。	授業内で気づいた問題点についての見直しと次回に向けての予習を行う。	
8		講義・演習	イベント発表に向けた課題曲についてアンサンブルを行う。	バンド練習を行う。バンドミーティングを行い、制作物の作成を進める。	
9		講義・演習	楽曲にあった衣装を決め、パフォーマンスを考え、担当曲のアンサンブルを実践する。	バンド練習を行う。バンドのアー写を撮り、更に制作物の作成を進める。	
10		講義・演習	MC、コーラスを踏まえ、担当曲のアンサンブルを実践する。	バンド練習を行い、クオリティを高めていく。録音してみる。	
11		講義・演習	数十バンド出演のショーとして転換、セッティングを考慮し、パフォーマンスを実践する。発表会に向けたリハーサルをPAや照明スタッフと共に進めていく。	バンド練習を行い、クオリティを高めていく。セッティングを繰り返し行い、音質の向上を目指す。PA、照明スタッフとの関係性を理解し、打合せ等を行い、協同作業で進めていく事の理解を深めていく。	
12		講義・演習	映像撮影とパフォーマンスを実践する。発表会に向けた最終リハーサルをPAや照明スタッフと共に進めていく。	バンド練習を行い、クオリティを高めていく。映像撮影してみる。最終リハーサルで気づいたことを記録しておく。改善していく。	
13		講義・演習	実技テスト及び後期内容の復習	1～12をまとめてレポート作成	
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出	
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出	
準備学習 時間外学習			楽器やヴォーカルのROCKスタイルについて理解し、授業の復習と次週課題曲の予習を行う。		
【使用教科書・教材・参考書】					

科目名	Funk Ensemble (7)	必修 選択	選択	年次	4	担当教員	小寺良太
学科・専攻	スーパーeエンターテインメント科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴	1997年よりバンド「メロディオンズ」のメンバーとして活動しながらサポートドラム、ドラムチューナーとしての活動を開始。バンド脱退後も様々なアーティストのサポート、レコーディング、ドラムテックとして活動中。						
授業の学習 内容	ジャンル別アンサンブル授業の1つとして、FUNK楽曲を課題としたアンサンブルを行う。 課題曲は2週間続きで行い、ダンスブルなFUNK楽曲を演奏することの楽しさを知り、リズムの大切さ、グルーヴ感、音量調整、サウンド作り、バンドコミュニケーション、パフォーマンスを養っていきます。さらには、レパートリーを持つことで、将来現場でセッションする機会があった際に活かせること、楽譜の読み書きや音楽理論を理解する場とする。 事前に提示された楽曲資料(音源、譜面、歌詞)を元に予習準備し、授業内ではバンド全体で合わせることを基本とします。 前期終わりには中間発表、年度終わりには卒業制作展での発表につながります。						
到達目標	FUNK及び、FUNKに影響を受けた楽曲を各パートが表現できるようになる。また、リズム感、グルーヴ感、パフォーマンス力を向上し、バンドとして一体感を持って表現するスキルを身につける。さらには、主体性を持ってリハーサルに取り組み、メンバー同士でコミュニケーションを取りながら楽曲全体のクオリティを向上させる意識と行動力を持つことを目標とします。						
評価方法と基準	初回授業から中間発表までの個々の成長度を以下の項目を基準にして採点を行う。 ①出席 50点 ②ミュージシャンスキル 10点 ③パフォーマンス 10点 ④コミュニケーション 10点 ⑤準備 10点 ⑥サウンド 10点						

授業計画・内容					
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)	
1		講義・演習	課題曲Unit1のアンサンブル。2010年代のFUNKから入り、FUNKの楽しさを知る。	Unit1の復習。FUNKの名曲を調べる	
2		講義・演習	課題曲Unit1のアンサンブル。演奏面での問題点、課題点を修正しパフォーマンスする。	Unit2の予習。FUNKの重要な要素となるリズムを分析する。次回の課題曲の予習をする。	
3		講義・演習	課題曲Unit2のアンサンブル。難易度の低いFUNK曲でシンプルなノリを重視する。	Unit2の復習。ルーツとなるジャンルを検証する	
4		講義・演習	課題曲Unit2のアンサンブル。演奏面での問題点、課題点を修正しパフォーマンスする。	次回Unit3の課題曲の予習をする。	
5		講義・演習	課題曲Unit3のアンサンブル。ディスコミュージックを課題曲にダンスミュージックの楽しさを知る。	Unit3の復習。FUNKの名曲を調べ、視聴する。	
6		講義・演習	課題曲Unit3のアンサンブル。FUNKの名曲を演奏し、グルーヴする感覚を養う。	次回Unit4の課題曲の予習	
7		講義・演習	課題曲Unit4のアンサンブル。1980年代に発祥したFUNKの名曲を学ぶ。	Unit4の復習。FUNKのリズム、グルーヴの大切さを理解するためしっかり練習する。	
8		講義・演習	課題曲Unit4のアンサンブル。FUNKの名曲を演奏し、グルーヴする感覚を養う。	次回Unit5の課題曲の予習	
9		講義・演習	課題曲Unit5のアンサンブル。1970年代に発祥したFUNKの名曲を学ぶ。	Unit5の復習。FUNKのリズム、グルーヴの大切さを理解するためしっかり練習する。	
10		講義・演習	課題曲Unit5のアンサンブル。FUNKの名曲を演奏し、グルーヴする感覚を養う。	次回Unit6の課題曲の予習	
11		講義・演習	課題曲Unit6のアンサンブル。難易度の高いFUNK曲にチャレンジする。	Unit6の復習。FUNKのリズム、グルーヴの大切さを理解するためしっかり練習する。	
12		講義・演習	課題曲Unit6のアンサンブル。FUNKの名曲を演奏し、グルーヴする感覚を養う。	中間発表に向けて練習する。	
13		講義・演習	前期のまとめとして中間発表を行う。	発表会での演奏について検証し、問題点を克服するべく練習につなげる。	
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出	
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出	
準備学習 時間外学習			課題曲の音源、スコア、歌詞を確認して、授業前に個人練習しておく。FUNK曲を視聴し、分析する。		
【使用教科書・教材・参考書】					

科目名	Funk Ensemble (8)	必修 選択	選択	年次	4	担当教員	小寺良太
学科・専攻	スーパーeエンターテイメント科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴	1997年よりバンド「メロディオンズ」のメンバーとして活動しながらサポートドラム、ドラムチューナーとしての活動を開始。バンド脱退後も様々なアーティストのサポート、レコーディング、ドラムテックとして活動中。						
授業の学習 内容	ジャンル別アンサンブル授業の1つとして、FUNK楽曲を課題としたアンサンブルを行う。 課題曲は2週間続きで行い、ダンスブルなFUNK楽曲を演奏することの楽しさを知り、リズムの大切さ、グルーヴ感、音量調整、サウンド作り、バンドコミュニケーション、パフォーマンスを養っていきます。さらには、レパートリーを持つことで、将来現場でセッションする機会があった際に活かせること、楽譜の読み書きや音楽理論を理解する場とする。 事前に提示された楽曲資料(音源、譜面、歌詞)を元に予習準備し、授業内ではバンド全体で合わせることを基本とします。 前期終わりには中間発表、年度終わりには卒業制作展での発表につながります。						
到達目標	FUNK及び、FUNKに影響を受けた楽曲を各パートが表現できるようになる。また、リズム感、グルーヴ感、パフォーマンス力を向上し、バンドとして一体感を持って表現するスキルを身につける。さらには、主体性を持ってリハーサルに取り組み、メンバー同士でコミュニケーションを取りながら楽曲全体のクオリティを向上させる意識と行動力を持つことを目標とします。						
評価方法と基準	卒業制作展までの個々の成長度を以下の項目を基準にして採点を行う。 ①出席 50点 ②ミュージシャンスキル 10点 ③パフォーマンス 10点 ④コミュニケーション 10点 ⑤準備 10点 ⑥サウンド 10点						

授業計画・内容					
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)	
1		講義・演習	課題曲Unit7のアンサンブル。80年代以降のFUNK楽曲を学ぶ。	Unit7の復習。FUNKの名曲を調べる	
2		講義・演習	課題曲Unit7のアンサンブル。演奏面での問題点、課題点を修正しパフォーマンスする。	Unit7の予習。FUNKの重要な要素となるリズムを分析する。次回の課題曲の予習をする。	
3		講義・演習	課題曲Unit8のアンサンブル。80年代以降のFUNK楽曲を学ぶ。	Unit8の復習。ルーツとなるジャンルを検証する	
4		講義・演習	課題曲Unit8のアンサンブル。演奏面での問題点、課題点を修正しパフォーマンスする。	次回卒業制作展の課題曲の予習をする。	
5		講義・演習	卒業制作展の楽曲に取り組み、リハーサルを行う	課題曲の練習。授業で気づいた課題点を克服するための練習を繰り返す。	
6		講義・演習	卒業制作展の楽曲に取り組み、リハーサルを行う	課題曲の練習。授業で気づいた課題点を克服するための練習を繰り返す。	
7		講義・演習	卒業制作展の楽曲に取り組み、リハーサルを行う。パフォーマンスも意識して取り組む。	課題曲の練習。授業で気づいた課題点を克服するための練習を繰り返す。	
8		講義・演習	卒業制作展の楽曲に取り組み、リハーサルを行う。パフォーマンスも意識して取り組む。	次回Unit9の課題曲の予習	
9		講義・演習	課題曲Unit9のアンサンブル。卒業制作展課題曲とは異なる楽曲に取り組む。	Unit9の復習。FUNKのリズム、グルーヴの大切さを理解するためしっかり練習する。	
10		講義・演習	卒業制作展のリハーサルを行う。	卒業制作展データ取り12/19に向けて練習する	
11		講義・演習	卒業制作展のリハーサルを行う。	卒業制作展課題曲の練習(演奏、パフォーマンス)	
12		講義・演習	卒業制作展のリハーサルを行う。	卒業制作展課題曲の練習(演奏、パフォーマンス)	
13		講義・演習	卒業制作展のリハーサルを行う。	発表会での演奏について検証し、問題点を克服するべく練習につなげる。	
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出	
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出	
準備学習 時間外学習			課題曲の音源、スコア、歌詞を確認して、授業前に個人練習しておく。FUNK曲を視聴し、分析する。		
【使用教科書・教材・参考書】					

科目名	R&B Ensemble (7)	必修 選択	選択	年次	4	担当教員	前田逸平
学科・専攻	スーパーeエンターテイメント科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴	様々なアーティストのサポート、レコーディング、楽曲アレンジに加え、白井裕紀との作家ユニットYippeeとしても活動中。						
授業の学習 内容	現代の音楽シーンへも多大な影響がある、R&B,Soul,Motownなど主にブラックミュージックを中心に選曲。実際にアンサンブルしながら、演奏スキル、パフォーマンス力、演奏時のコミュニケーションを磨いていきます。2週続きで同じ曲を取り組むことで楽曲や、互いのパートへの理解を深め、演奏をブラッシュアップしていく感覚を養います。						
到達目標	バンド形態での歌唱や演奏力を高める。 ヴォーカル、バンドが一体となってサウンドを作っていく感覚を体感する。 アンサンブルへ向けての準備、練習の大切さを学ぶ。 人前でのパフォーマンスの経験値を上げていく。						
評価方法と基準	個人毎の成長度を元に、以下の項目を基準として採点を行います。 1. 出席 50点 2. 歌唱、演奏スキル 20点 3. パフォーマンス 10点 4. コミュニケーション 10点 5. 準備 10点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	R&Bアンサンブルについての概要説明。 Unit0課題曲のアンサンブルを実践。	授業で学んだ内容について復習。Unit1楽曲の予習。
2		講義・演習	Unit1:サザンソウルスタイルのアンサンブル	授業を経ての個々の課題を明確にして、次週に向けて練習する。
3		講義・演習	Unit1:サザンソウルスタイルのアンサンブル	Unit1楽曲について達成出来たこと、引き続き課題なことを発見する。Unit2楽曲の予習。
4		講義・演習	Unit2:Motownスタイルのアンサンブル	授業を経ての個々の課題を明確にして、次週に向けて練習する。
5		講義・演習	Unit2:Motownスタイルのアンサンブル	Unit2楽曲について達成出来たこと、引き続き課題なことを発見する。Unit3楽曲の予習。
6		講義・演習	Unit3:デュエットソングのアンサンブル	授業を経ての個々の課題を明確にして、次週に向けて練習する。
7		講義・演習	Unit3:デュエットソングのアンサンブル	Unit3楽曲について達成出来たこと、引き続き課題なことを発見する。Unit4楽曲の予習。
8		講義・演習	Unit4:セッションなどでも定番曲のアンサンブル	授業を経ての個々の課題を明確にして、次週に向けて練習する。
9		講義・演習	Unit4:セッションなどでも定番曲のアンサンブル	Unit4楽曲について達成出来たこと、引き続き課題なことを発見する。Unit5楽曲の予習。
10		講義・演習	Unit5:80'sバラードのアンサンブル	授業を経ての個々の課題を明確にして、次週に向けて練習する。
11		講義・演習	Unit5:80'sバラードのアンサンブル	Unit5楽曲について達成出来たこと、引き続き課題なことを発見する。Unit6楽曲の予習。
12		講義・演習	中間発表に参加し、チームでの制作準備や練習に取り組む。	ミーティング、セット図や歌割り表等の制作資料を作成する。バンドや発表曲の練習をする。
13		講義・演習	中間発表で本番経験を積む。	バンドや発表曲の練習をした上で本番出演できるよう体調管理を含めた自己管理の大切さを学び、本番後の振り返りをして事後の成長につなげる。
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
課題曲の音源、歌詞、譜面資料(Teamsにて共有)				

科目名	R&B Ensemble (8)	必修 選択	選択	年次	4	担当教員	前田逸平
学科・専攻	スーパーeエンターテイメント科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴	様々なアーティストのサポート、レコーディング、楽曲アレンジに加え、白井裕紀との作家ユニットYippeeとしても活動中。						
授業の学習 内容	現代の音楽シーンへも多大な影響がある、R&B,Soul,Motownなど主にブラックミュージックを中心に選曲。実際にアンサンブルしながら、演奏スキル、パフォーマンス力、演奏時のコミュニケーションを磨いていきます。2週続きで同じ曲を取り組むことで楽曲や、互いのパートへの理解を深め、演奏をブラッシュアップしていく感覚を養います。						
到達目標	バンド形態での歌唱や演奏力を高める。 ヴォーカル、バンドが一体となってサウンドを作っていく感覚を体感する。 アンサンブルへ向けての準備、練習の大切さを学ぶ。 人前でのパフォーマンスの経験値を上げていく。						
評価方法と基準	個人毎の成長度を元に、以下の項目を基準として採点を行います。 1. 出席 50点 2. 歌唱、演奏スキル 20点 3. パフォーマンス 10点 4. コミュニケーション 10点 5. 準備 10点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	中間発表に向けてのリハーサル、練習を行う。	ミーティング、セット図や歌割り表等の制作資料を作成する。バンドや発表曲の練習をする。
2		講義・演習	中間発表に参加し、本番経験を積む。	バンドや発表曲の練習をした上で本番出演できるよう、体調管理を含めた自己管理の大切さを学ぶ。本番後の振り返りをして事後の成長につなげる。
3		講義・演習	WeAreの楽曲(1)(フル尺)でのアンサンブルを 実践する。	授業を経ての個々の課題を明確にして、次週 に向けて練習する。
4		講義・演習	WeAreの楽曲(1)(フル尺)でのアンサンブルを 実践する。	WeAre楽曲(1)について達成出来たこと、引き続き 課題なことを発見する。次週楽曲の予習。
5		講義・演習	WeAreの楽曲(2)(フル尺)でのアンサンブルを 実践する。	授業を経ての個々の課題を明確にして、次週 に向けて練習する。
6		講義・演習	WeAreの楽曲(2)(フル尺)でのアンサンブルを 実践する。	WeAre楽曲(2)について達成出来たこと、引き続き課題な ことを発見する。Voオーディションに向け準備。
7		講義・演習	WeAre楽曲、ボーカルオーディションを行う。	自分の担当曲以外も歌唱、演奏できるように 準備しておく。
8		講義・演習	Motownメドレー、曲サイズ、アレンジの確認。	1曲あたりが短いので、各曲のイメージをより はっきりと掴んでおく。
9		講義・演習	Motownメドレー、曲間、転換の確認。	メドレー内での転換がスムーズにいくように、音作りや立 ち位置、マイクの受け渡しなど明確にしておく。
10		講義・演習	Motownメドレー、振り付け、衣装など本番準備 の確認。 Motownメドレー、通しRHを行う。	実際のアーティスト達の映像や写真を見て、 動きや立ち姿、衣装の研究をする。
11		講義・演習	X'masソングのアンサンブルを実践する。 Motownメドレー、通しRHを行う。	実際に通してみでの改善点などを発見し、ブ ラッシュアップする。次週曲の予習。
12		講義・演習	卒業・進級制作に参加し、チームでの制作準 備や練習に取り組む。	X'masヒットソングのレパートリーを増やす。
13		講義・演習	卒業・進級制作で本番経験を積む。	衣装、転換など含めた最終RH。良いイメージを固めて本 番に向けて各々仕上げ&体調管理を徹底する。
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
課題曲の音源、歌詞、譜面資料(Teamsにて共有)				

科目名	ミュージックビジネス(7)	必修 選択	選択	年次	4	担当教員	高田雄貴
学科・専攻	スーパーeエンターテインメント科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 4単位		
教員の略歴	30年以上、ライブ、コンサート、ツアーに限らず、Mステスーパーライブの運営や「お台場合衆国・めざましライブ」「汐留博覧会」など、数多くのイベントを制作している。						
授業の学習 内容	講義の本編としては、音楽プロデューサー論が基本となります。ミュージック・ビジネスに於けるプロデューサーの最大使命は“ヒット作品”を造りその作品をワールド・ワイドで“スタンダード化”することにより、これらのプロダクトから最大限の収益を上げることによりあります。それらの事を目的としてビジネスを形成して行くのが音楽プロデューサー本来の仕事です。この本質を過去の音楽業界発展の歴史の中から学んで行き、現在の時代に合ったやり方で次の時代の“スタンダード・ミュージック”を創っていく技術をノウ・ハウとして学んでゆきます。						
到達目標	学生の皆さんがもし将来本気で音楽業界で働きたいのであれば制作セクションは勿論の事、その他職種を問わずプロデュース能力は必須です。作家やミュージシャン、エンジニアは勿論のことマネージメントや宣伝志望でもスタッフワークに於いてクリエイティビティな思考が出来なければ現場では不要な人材とみなされます。この授業は音楽業界の現場で実際に必要とされる人材と成るために、よりクリエイティブな『考え方』を身に付けていく授業です。そのためにコンテンツ・アートとしての音楽とポップ・カルチャーとしてのヒット曲に対する理解を深め、現在のミュージック・ビジネスの本質を理解し自らのプロデュース能力を高めることを目標とします。						
評価方法と基準	1) 定期テスト(筆記50% 平常点50%) □ 評価の基準はクリエイティビティとコミュニケーション能力から、その学生が実際の音楽業界の現場に於いて『使える』人材になり得るか否かで判断していきます。						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	ミュージックビジネス講座概論/オリエンテーション	振り返りと次回議論に向けた自身の意見のまとめ。
2		講義・演習	レコード産業の成り立ち	レコード産業の成り立ちの振り返りと次回議論に向けた自身の意見のまとめ。
3		講義・演習	複製ビジネスにおける音楽論	複製ビジネスにおける音楽論の振り返りと次回議論に向けた自身の意見のまとめ。
4		講義・演習	日本に於けるレコード会社の成り立ち	日本に於けるレコード会社の成り立ちの振り返りと次回議論に向けた自身の意見のまとめ。
5		講義・演習	日本のレコード会社概論/戦前編「波浮の港」	日本のレコード会社概論/戦前編「波浮の港」の振り返りと次回議論に向けた自身の意見のまとめ。
6		講義・演習	日本のレコード会社概論/戦前編、専属作家の時代	日本のレコード会社概論/戦前編、専属作家の時代の振り返りと次回議論に向けた自身の意見のまとめ。
7		講義・演習	日本のレコード会社概論/戦前編「蘇州夜曲」から「千本桜」	日本のレコード会社概論/戦前編「蘇州夜曲」から「千本桜」の振り返りと次回議論に向けた自身の意見のまとめ。
8		講義・演習	日本のレコード会社概論/戦後編、進駐軍と「リンゴの唄」	日本のレコード会社概論/戦後編、進駐軍と「リンゴの唄」の振り返りと次回議論に向けた自身の意見のまとめ。
9		講義・演習	日本のレコード会社概論/戦後編、高度経済成長とエンタメ産業	日本のレコード会社概論/戦後編、高度経済成長とエンタメ産業の振り返りと次回議論に向けた自身の意見のまとめ。
10		講義・演習	日本のレコード会社概論/6社時代、その1	日本のレコード会社概論/6社時代、その1の振り返りと次回議論に向けた自身の意見のまとめ。
11		講義・演習	日本のレコード会社概論/6社時代、原盤制作とディストリビューション	日本のレコード会社概論/6社時代、原盤制作とディストリビューションの振り返りと次回議論に向けた自身の意見のまとめ。
12		講義・演習	日本のレコード会社概論/6社時代、その2	日本のレコード会社概論/6社時代、その2の振り返りと次回議論に向けた自身の意見のまとめ。
13		講義・演習	前期講義のまとめとテスト	ポートフォリオ、論文
14		講義・演習	イベント・実戦を通して、達成感やチームワークを学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実戦を通して、達成感やチームワークを学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	ミュージックビジネス(8)	必修 選択	選択	年次	4	担当教員	高田雄貴
学科・専攻	スーパーeエンターテイメント科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 4単位		
教員の略歴	30年以上、ライブ、コンサート、ツアーに限らず、Mステスーパーライブの運営や「お台場合衆国・めざましライブ」「汐留博覧会」など、数多くのイベントを制作している。						
授業の学習 内容	講義の本編としては、音楽プロデューサー論が基本となります。ミュージック・ビジネスに於けるプロデューサーの最大使命は“ヒット作品”を造りその作品をワールド・ワイドで“スタンダード化”することにより、これらのプロダクトから最大限の収益を上げることによります。それらの事を目的としてビジネスを形成して行くのが音楽プロデューサー本来の仕事です。この本質を過去の音楽業界発展の歴史の中から学んで行き、現在の時代に合ったやり方で次の時代の“スタンダード・ミュージック”を創っていく技術をノウ・ハウとして学んでゆきます。						
到達目標	学生の皆さんがもし将来本気で音楽業界で働きたいのであれば制作セクションは勿論の事、その他職種を問わずプロデュース能力は必須です。作家やミュージシャン、エンジニアは勿論のことマネージメントや宣伝志望でもスタッフワークに於いてクリエイティビティな思考が出来なければ現場では不要な人材とみなされます。この授業は音楽業界の現場で実際に必要とされる人材と成るために、よりクリエイティブな『考え方』を身に付けていく授業です。そのためにコンテンツ・アートとしての音楽とポップ・カルチャーとしてのヒット曲に対する理解を深め、現在のミュージック・ビジネスの本質を理解し自らのプロデュース能力を高めることを目標とします。						
評価方法と基準	1) 定期テスト(筆記50% 平常点50%) □ 評価の基準はクリエイティビティとコミュニケーション能力から、その学生が実際の音楽業界の現場に於いて『使える』人材になり得るか否かで判断していきます。						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	日本のレコード会社概論/CBSソニー誕生	日本のレコード会社概論/CBSソニー誕生振り返りと次回議論に向けた自身の意見のまとめ。
2		講義・演習	日本のレコード会社概論/巨大化するミュージックビジネス	日本のレコード会社概論/巨大化するミュージックビジネス振り返りと次回議論に向けた自身の意見のまとめ。
3		講義・演習	日本のレコード会社概論/CBSソニー以降	日本のレコード会社概論/CBSソニー以降振り返りと次回議論に向けた自身の意見のまとめ。
4		講義・演習	インターネットとレコード産業	インターネットとレコード産業振り返りと次回議論に向けた自身の意見のまとめ。
5		講義・演習	世界の3大メジャーレーベル	世界の3大メジャーレーベル振り返りと次回議論に向けた自身の意見のまとめ。
6		講義・演習	プロダクションと音楽出版社	プロダクションと音楽出版社振り返りと次回議論に向けた自身の意見のまとめ。
7		講義・演習	日本の歌謡ポップス/60年代	日本の歌謡ポップス/60年代振り返りと次回議論に向けた自身の意見のまとめ。
8		講義・演習	レコーディング・テクノロジーの進化	レコーディング・テクノロジーの進化振り返りと次回議論に向けた自身の意見のまとめ。
9		講義・演習	ポップスに於けるビート革命	ポップスに於けるビート革命振り返りと次回議論に向けた自身の意見のまとめ。
10		講義・演習	ポップスに於けるアレンジ革命	ポップスに於けるアレンジ革命振り返りと次回議論に向けた自身の意見のまとめ。
11		講義・演習	日本の音楽プロデューサー	日本の音楽プロデューサー振り返りと次回議論に向けた自身の意見のまとめ。
12		講義・演習	世界の音楽プロデューサー	世界の音楽プロデューサー振り返りと次回議論に向けた自身の意見のまとめ。
13		講義・演習	ミュージックビジネスの行方	ポートフォリオ、論文
14		講義・演習	イベント・実戦を通して、達成感やチームワークを学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実戦を通して、達成感やチームワークを学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	イベントプロデュース（7）	必修 選択	選択	年次	4	担当教員	高田雄貴
学科・専攻	スーパーeエンターテイメント科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 （単位）	30 2単位		
教員の略歴	30年以上、ライブ、コンサート、ツアーに限らず、Mステスーパーライブの運営や「お台場合衆国・めざましライブ」「汐留博覧会」など、数多くのイベントを制作している。						
授業の学習 内容	[1] 音楽ビジネスにおける基礎能力である、企画（プランニング）についての基礎知識を学習する [2] 音楽ビジネスのコア3ビジネスのうちイベント（コンサート/ライブ他）企画の実施についての基礎知識を学習する [3] 音楽ビジネスにおける基礎能力である、企画（プランニング）について学ぶ中から企画実務の基本を学習する						
到達目標	[1] 音楽業界への就職に必要な音楽ビジネスのコアを知る事で業界人として必要な基礎知識を構築する [2] 音楽業界への就職に必要な音楽ビジネスの仕組みを知る事で業界人として必要な基礎知識を構築する [3] 音楽業界への就職後に必要な音楽ビジネスの実務を知る事で業界人として必要な心構えを構築する						
評価方法と基準	[1] 定期試験 ※筆記試験（評価割合 40%） [2] 受講態度 ※レポート課題提出（評価割合 60%）						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	はじめに ? 企画って何？	本日の授業をもつてのレポートを800字以内で提出
2		講義・演習	企画は誰の為 を理解する	本日の授業をもつてのレポートを800字以内で提出
3		講義・演習	会場について理解する	全国のホールを調査する
4		講義・演習	5W1Hを理解する	本日の授業をもつてのレポートを800字以内で提出
5		講義・演習	イベント本番の時間的流れを理解する	モデルタイムテーブルの作成し提出
6		講義・演習	メディアとプロモーションを理解する	メディアネットアークの調査
7		講義・演習	ホームページとSNSを理解する	本日の授業をもつてのレポートを800字以内で提出
8		講義・演習	マーケットについて知る	シンクタンクのレポートを確認する
9		講義・演習	売れてる？ヒットチャートを理解する	ヒットチャート調査のリスト化
10		講義・演習	スタッフについて知る	本日の授業をもつてのレポートを800字以内で提出
11		講義・演習	集客するには(入場券とプレイガイド)を理解する	プレイガイドを研究しまとめたものを提出
12		講義・演習	イベントのビジネスモデルを知る	本日の授業をもつてのレポートを800字以内で提出
13		講義・演習	企画立案しプレゼンする	アーティスト活動調査
14		講義・演習	イベント・実戦を通して、達成感やチームワークを学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実戦を通して、達成感やチームワークを学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			授業時間内の制作が中心で、教室内で扱えないものを時間外学習として進めます。	
【使用教科書・教材・参考書】				
昨年度実績の概要書・終了報告書参照・自作PPT				

科目名	イベントプロデュース (8)	必修 選択	選択	年次	4	担当教員	高田雄貴
学科・専攻	スーパーeエンターテイメント科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴	30年以上、ライブ、コンサート、ツアーに限らず、Mステスーパーライブの運営や「お台場合衆国・めざましライブ」「汐留博覧会」など、数多くのイベントを制作している。						
授業の学習 内容	[1] 音楽ビジネスにおける基礎能力である、企画(プランニング)についての基礎知識を学習する [2] 音楽ビジネスのコア3ビジネスのうちイベント(コンサート/ライブ他)企画の実施についての基礎知識を学習する [3] 音楽ビジネスにおける基礎能力である、企画(プランニング)について学ぶ中から企画実務の基本を学習する						
到達目標	[1] 音楽業界への就職に必要な音楽ビジネスのコアを知る事で業界人として必要な基礎知識を構築する [2] 音楽業界への就職に必要な音楽ビジネスの仕組みを知る事で業界人として必要な基礎知識を構築する [3] 音楽業界への就職後に必要な音楽ビジネスの実務を知る事で業界人として必要な心構えを構築する						
評価方法と基準	[1] 定期試験 ※筆記試験 (評価割合 40%) [2] 受講態度 ※レポート課題提出 (評価割合 60%)						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	企画項目を整理する	本日の授業をもってレポートを800字以内で作成し提出
2		講義・演習	企画書作成の準備をする・1	アーティストを調査しレポートとして提出
3		講義・演習	企画書作成の準備をする・2	夏フェスティバルを調査しレポートとして提出
4		講義・演習	実在のイベントをモデルに企画書化する・1	イベントを調査しレポートとして提出
5		講義・演習	実在のイベントをモデルに企画書化する・2	モデルタイムテーブルの作成
6		講義・演習	会場設備理論(全国の会場を分析する)ホール編	全国のホールを調査してレポートとして提出
7		講義・演習	会場設備理論(全国の会場を分析する)ライブハウス編	全国のライブハウスを調査してレポートとして提出
8		講義・演習	会場設備理論(全国の会場を分析する)アリーナスタジアム編	全国のアリーナスタジアムを調査してレポートとして提出
9		講義・演習	イベント企画の研究	オリンピックについて調査してレポートとして提出
10		講義・演習	イベントと法規	消防申請について調査しレポートとして提出
11		講義・演習	単体イベントとツアー	クリスマスツアーを調査しレポートとして提出
12		講義・演習	ツアーの企画を立案する	交通インフラを調査してレポートとして提出する
13		講義・演習	イベントのスタイルとビジネスモデル	ACPCの資料を検証しレポートとして提出
14		講義・演習	イベント・実戦を通して、達成感やチームワークを学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実戦を通して、達成感やチームワークを学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			授業時間内の制作が中心で、教室内で扱えないものを時間外学習として進めます。	
【使用教科書・教材・参考書】				
昨年度実績の概要書・終了報告書参照・自作PPT				

科目名	WEB制作(7)	必修 選択	選択	年次	4	担当教員	isao
学科・専攻	スーパーeエンターテイメント科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 4単位		
教員の略歴	株式会社TAN-SU(リベットボタン)等アーティストのWEBSITE制作の実績もあり、IT企業にてシステム開発・運用 / 企業のWEB制作案件を請け負う						
授業の学習 内容	生活や仕事のほとんどがインターネットに繋がる今、インターネットの理解はもちろん、発信者側としてのリテラシーとして、PC操作やWEBの根本的な仕組みを学びます。それらを通して、プログラム言語、デザイン能力、情報整理力など、さまざま能力を学びます。これから生きる学生にはぜひとも押さえない科目です。						
到達目標	PC操作やWEBの根本的な仕組みの理解と扱いができるようになる。 情報整理力・自分自身のアピールなどITを活用できるようになる。						
評価方法と基準	テスト50%/出席率50%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	PC操作の基本を知る	レポート提出
2		講義・演習	ファイルやフォルダの概念を理解する	レポート提出
3		講義・演習	各種フォルダの扱い・データの整理の仕方を学ぶ	レポート提出
4		講義・演習	各種データを適切なソフトで開き閲覧できるようにする	レポート提出
5		講義・演習	WEBやネットワークの基礎を知る	レポート提出
6		講義・演習	WEB制作に必要な環境や手順を知る	レポート提出
7		講義・演習	WEBで使われる言語(HTML,CSS)を理解する	レポート提出
8		講義・演習	WEBページをひとつ作成する(原稿作成)	レポート提出
9		講義・演習	WEBページをひとつ作成する(素材調達)	レポート提出
10		講義・演習	WEBページをひとつ作成する(コーディング)	レポート提出
11		講義・演習	WEBページをひとつ作成する(コーディング)	レポート提出
12		講義・演習	WEBページをひとつ作成する(レスポンス対応)	レポート提出
13		講義・演習	テスト	レポート提出
14		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			タイピング	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	WEB制作(8)	必修 選択	選択	年次	4	担当教員	isao
学科・専攻	スーパーeエンターテイメント科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 4単位		
教員の略歴	株式会社TAN-SU(リベットボタン)等アーティストのWEBSITE制作の実績もあり、IT企業にてシステム開発・運用 / 企業のWEB制作案件を請け負う						
授業の学習 内容	生活や仕事のほとんどがインターネットに繋がる今、インターネットの理解はもちろん、発信者側としてのリテラシーとして、PC操作やWEBの根本的な仕組みを学びます。それらを通して、プログラム言語、デザイン能力、情報整理力など、さまざま能力を学びます。これから生きる学生にはぜひとも押さえない科目です。						
到達目標	PC操作やWEBの根本的な仕組みの理解と扱いができるようになる。 情報整理力・自分自身のアピールなどITを活用できるようになる。						
評価方法と基準	テスト50%/出席率50%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	デザインの基礎を知る	レポート提出
2		講義・演習	Wordを使って見やすい文章を作る	レポート提出
3		講義・演習	Wordを使って見やすい表を作る	レポート提出
4		講義・演習	Photoshopを使って掲示物等のデザインを作る	レポート提出
5		講義・演習	エクセルの基本操作を学ぶ	レポート提出
6		講義・演習	エクセルの装飾を学ぶ	レポート提出
7		講義・演習	エクセルの関数を学ぶ	レポート提出
8		講義・演習	データの扱いについて学ぶ	レポート提出
9		講義・演習	エクセルでデータ管理するためのワークシート作成	レポート提出
10		講義・演習	エクセルでデータ管理するためのワークシート作成	レポート提出
11		講義・演習	エクセルでガントチャートを作成する	レポート提出
12		講義・演習	エクセルで案件管理表を作成する	レポート提出
13		講義・演習	テスト	レポート提出
14		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			タイピング	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Band Ensemble (7)	必修 選択	選択	年次	4	担当教員	田原佑一 朗
学科・専攻	スーパーeエンターテイメント科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴	THE SOULMATICSのメンバーとして数多くのステージに立ち、国内外で活躍中。また、ハーバード大学卒・教育工学博士の上田信行氏より学習デザインを学び教育×音楽×学習環境を実践し、ワークショップや学びの空間を創造している。						
授業の学習 内容	4年間の学びの集大成として、卒業制作をする。 セットリスト・課題曲の資料の作成を自ら行い、学期末でワンマンライブを実施する。						
到達目標	アーティストとしての自己表現はもちろん、音楽業界で生きていくうえで必要な知識を身につけ、ライブ制作をする。						
評価方法と基準	出席率と授業内での理解度と積極性の度合い。						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	ガイダンス・セットリスト作成	授業内容を理解し、課題曲の資料を作成する
2		講義・演習	ガイダンス・セットリスト作成	授業内容を理解し、課題曲の資料を作成する
3		講義・演習	課題曲のアンサンブル バンドでのコミュニケーションについて学ぶ。	課題曲の資料作成
4		講義・演習	課題曲のアンサンブル バンドでのコミュニケーションについて学ぶ。	課題曲の資料作成
5		講義・演習	課題曲のアンサンブル 自己表現の研究をする。	課題曲の資料作成
6		講義・演習	課題曲のアンサンブル 自己表現の研究をする。	課題曲の資料作成
7		講義・演習	課題曲のアンサンブル パフォーマンス実践。	課題曲の資料作成
8		講義・演習	課題曲のアンサンブル パフォーマンス実践。	課題曲の資料作成
9		講義・演習	課題曲のアンサンブル ライブの構成を考えて、発表する。	課題曲の資料作成、ライブの構成を考える。
10		講義・演習	課題曲のアンサンブル イメージの共有とライブに向けた準備。	課題曲の資料作成、ライブの構成を考える。
11		講義・演習	課題曲のアンサンブル ライブに向けて最終調整。	発表会の本番資料の作成。
12		講義・演習	ライブ(発表会)に向けたリハーサル	ライブの構成を考えて、資料を準備する
13		講義・演習	ライブ実践(発表会)	ライブの構成を考えて、資料を準備する
14		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			課題曲の音源、スコア、歌詞を確認して、授業前に個人練習しておく。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Band Ensemble (8)	必修 選択	選択	年次	4	担当教員	田原佑一 朗
学科・専攻	スーパーeエンターテイメント科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴	THE SOULMATICSのメンバーとして数多くのステージに立ち、国内外で活躍中。また、ハーバード大学卒・教育工学博士の上田信行氏より学習デザインを学び教育×音楽×学習環境を実践し、ワークショップや学びの空間を創造している。						
授業の学習 内容	4年間の学びの集大成として、卒業制作をする。 セットリスト・課題曲の資料の作成を自ら行い、学期末でワンマンライブを実施する。						
到達目標	アーティストとしての自己表現はもちろん、音楽業界で生きていくうえで必要な知識を身につけ、ライブ制作をする。						
評価方法と基準	出席率と授業内での理解度と積極性の度合い。						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	ガイダンス・セトリスト作成	授業内容を理解し、課題曲の資料を作成する
2		講義・演習	ガイダンス・セトリスト作成	授業内容を理解し、課題曲の資料を作成する
3		講義・演習	課題曲のアンサンブル バンドでのコミュニケーションについて学ぶ。	課題曲の資料作成
4		講義・演習	課題曲のアンサンブル バンドでのコミュニケーションについて学ぶ。	課題曲の資料作成
5		講義・演習	課題曲のアンサンブル 自己表現の研究をする。	課題曲の資料作成
6		講義・演習	課題曲のアンサンブル 自己表現の研究をする。	課題曲の資料作成
7		講義・演習	課題曲のアンサンブル パフォーマンス実践。	課題曲の資料作成
8		講義・演習	課題曲のアンサンブル パフォーマンス実践。	課題曲の資料作成
9		講義・演習	課題曲のアンサンブル ライブの構成を考えて、発表する。	課題曲の資料作成、ライブの構成を考える。
10		講義・演習	課題曲のアンサンブル イメージの共有とライブに向けた準備。	課題曲の資料作成、ライブの構成を考える。
11		講義・演習	課題曲のアンサンブル ライブに向けて最終調整。	発表会の本番資料の作成。
12		講義・演習	ライブ(発表会)に向けたリハーサル	ライブの構成を考えて、資料を準備する
13		講義・演習	ライブ実践(発表会)	ライブの構成を考えて、資料を準備する
14		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			課題曲の音源、スコア、歌詞を確認して、授業前に個人練習しておく。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Gospel Ensemble (7)	必修 選択	選択	年次	4	担当教員	池末 信
学科・専攻	スーパーeエンターテイメント科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 4単位		
教員の略歴	1991年以降、ゴスペルグループ「THE SOULMATICS」の代表として数々のアーティストのレコーディングやツアーに参加。作編曲家・ボイストレーナーとしても幅広く活動。						
授業の学習 内容	世界を代表するミュージシャンの多くが基盤に置く、ニグロスピリチュアル(黒人霊歌)のコンテンポラリーゴスペル(近代的なゴスペル)を中心に、オーセンティック(本格的)なゴスペルのサウンドを作る為の声、歌、グループ、リズム、パフォーマンス、表現、心その全てからグローバル基準で学ぶ。 また、選択理論、NLP(神経言語プログラミング)、プレイフルラーニング・シンキング、GRIT、メディテーションなどのワークを実践し、学ぶ上での精神衛生を整えること、学ぶ上での環境を全員でデザインすること、仲間を思いやり相乗効果を高める最大のWIN-WINを仲間との関係に産むこと、ワクワクすることなどを学び得る。						
到達目標	「上記学習内容が自分にとってプラスに働く」「上記内容が自分自身を自由にさせる」「この学びの先に本物になれる」それらを体感し信じれること。□						
評価方法と基準	筆記又は実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	説明、NLPワーク、新曲2曲レクチャー	課題曲予習
2		講義・演習	メディテーションワーク、2曲復習、新曲1曲	楽曲復習、学びの振り返り
3		講義・演習	3曲復習、新曲1曲、1曲パフォーマンス	楽曲復習、学びの振り返り
4		講義・演習	楽曲復習、パフォーマンスレクチャー	楽曲復習、学びの振り返り、動き復習
5		講義・演習	楽曲復習、パフォーマンスレクチャー	楽曲復習、学びの振り返り、動き復習
6		講義・演習	3曲新曲、選択理論ワーク	楽曲復習、学びの振り返り
7		講義・演習	3曲復習、新曲1曲、クラス内パフォーマンス	楽曲復習、学びの振り返り、動き復習
8		講義・演習	3曲復習、新曲1曲、クラス内パフォーマンス	楽曲復習、学びの振り返り、動き復習
9		講義・演習	プレイフルワーク、楽曲復習	楽曲復習、学びの振り返り
10		講義・演習	楽曲復習、新曲レクチャー	楽曲復習、学びの振り返り
11		講義・演習	楽曲復習、新曲レクチャー	楽曲復習、学びの振り返り
12		講義・演習	楽曲復習、ケティワーク	楽曲復習、学びの振り返り
13		講義・演習	新曲レクチャー	楽曲復習、学びの振り返り
14		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Gospel Ensemble (8)	必修 選択	選択	年次	4	担当教員	池末 信
学科・専攻	スーパーeエンターテイメント科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 4単位		
教員の略歴	1991年以降、ゴスペルグループ「THE SOULMATICS」の代表として数々のアーティストのレコーディングやツアーに参加。作編曲家・ボイストレーナーとしても幅広く活動。						
授業の学習 内容	世界を代表するミュージシャンの多くが基盤に置く、ニグロスピリチュアル(黒人霊歌)のコンテンポラリーゴスペル(近代的なゴスペル)を中心に、オーセンティック(本格的)なゴスペルのサウンドを作る為の声、歌、グループ、リズム、パフォーマンス、表現、心その全てからグローバル基準で学ぶ。 また、選択理論、NLP(神経言語プログラミング)、プレイフルラーニング・シンキング、GRIT、メディテーションなどのワークを実践し、学ぶ上での精神衛生を整えること、学ぶ上での環境を全員でデザインすること、仲間を思いやり相乗効果を高める最大のWIN-WINを仲間との関係に産むこと、ワクワクすることなどを学び得る。						
到達目標	「上記学習内容が自分にとってプラスに働く」「上記内容が自分自身を自由にさせる」「この学びの先に本物になれる」それらを体感し信じれること。						
評価方法と基準	筆記又は実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	選択理論ワーク、新曲3曲レクチャー	前期の振り返り
2		講義・演習	楽曲復習	楽曲復習、学びの振り返り
3		講義・演習	楽曲復習	楽曲復習、学びの振り返り、動き復習
4		講義・演習	新曲2曲レクチャー、パフォーマンスレクチャー	楽曲復習、学びの振り返り、動き復習
5		講義・演習	楽曲復習、動き復習	楽曲復習、学びの振り返り
6		講義・演習	ケイティワーク、2曲新曲	楽曲復習、学びの振り返り、動き復習
7		講義・演習	楽曲復習、動き復習	楽曲復習、学びの振り返り
8		講義・演習	楽曲復習	楽曲復習、学びの振り返り
9		講義・演習	新曲2曲レクチャー、楽曲復習	楽曲復習、学びの振り返り
10		講義・演習	We Are!ハーサル演習	楽曲復習、学びの振り返り
11		講義・演習	We Are!ハーサル演習	楽曲復習、学びの振り返り
12		講義・演習	We Are!ハーサル演習	楽曲復習、学びの振り返り
13		講義・演習	総復習	楽曲復習、学びの振り返り
14		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Vtuber マネジメント (7)	必修 選択	選択	年次	4	担当教員	禰好亭 めてお
学科・専攻	スーパーeエンターテインメント科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴	大学までスポーツ推薦で進み、在学中に教員免許(中高一種/英語)を取得。就職活動で一般企業に就職して営業成績No.1を獲得した後、フリーランスとして独立。その後、スカウトされてバーチャルYouTuberとしての活動を開始。現在はYouTube等での悩み相談配信や情報発信活動の他、イベントMC、TVやラジオへの出演、専門雑誌などでのコラム執筆等の依頼も受けている。講師実績は300コマを突破。						
授業の学習 内容	VTuberやネットアーティストとして活動していく上で大切な基礎知識をはじめとして、「リテラシー」「SNSの運用」「ビジネスマナー」「マネタイズ」「ブランディング」「セルフプロデュース」「企画実行力」等を中心として、1人の活動でも事務所に所属しても、タレントとしてやっていけるスキルを学び、裏方でもやっていける実力を培う土台とする。						
到達目標	・インフルエンサーとして活動するための土台をつくる ・SNS活用のリスクを知った上で着実に伸ばす知識をつける ・自身で企画した配信やイベントを実行する力を培う ・将来を考えて目標を立て、それに向かって進む準備を整える						
評価方法と基準	出席 意欲 課題提出や実技等						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	オリエンテーション(前期)	様々なエンターテインメントを摂取する
2		講義・演習	SNSマーケティングとリスクについて	SNSを動かしてみる
3		講義・演習	炎上対策とその必要性	SNSでの様々なトラブルについて気にかけてみる
4		講義・演習	自己表現の必要性和トレーニング	ロールモデルとなる人を見つける
5		講義・演習	リスク管理(SNSリテラシー)	日々のリスクについて日常で意識してみる
6		講義・演習	YouTubeのアルゴリズム	YouTube視聴の際に何故クリックしたのかを考える
7		講義・演習	YouTubeのアルゴリズムからの戦略	自分だったらどうするか考えながらYouTubeを見る
8		講義・演習	SNSマーケティング	普段見るYouTube動画のタイトルに着目してみる
9		講義・演習	自己分析とブランディング	自分の好きな事・嫌いな事を明確にする
10		講義・演習	トークスキルを紐解く	推し配信者を見てトークの何が面白いのか考察する
11		講義・演習	案件受注と企業対応	どんなPRなら自分が課金してもいいのか考える
12		講義・演習	ショート動画基礎	ショート動画をみて何故その動画が面白いのか考察
13		講義・演習	前期のまとめと質疑応答	休み前に聞いておきたい事をまとめておく
14		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Vtuber マネジメント (8)	必修 選択	選択	年次	4	担当教員	禰好亭 めてお
学科・専攻	スーパーeエンターテインメント科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴	大学までスポーツ推薦で進み、在学中に教員免許(中高一種/英語)を取得。就職活動で一般企業に就職して営業成績No.1を獲得した後、フリーランスとして独立。その後、スカウトされてバーチャルYouTuberとしての活動を開始。現在はYouTube等での悩み相談配信や情報発信活動の他、イベントMC、TVやラジオへの出演、専門雑誌などでのコラム執筆等の依頼も受けている。講師実績は300コマを突破。						
授業の学習 内容	VTuberやネットアーティストとして活動していく上で大切な基礎知識をはじめとして、「リテラシー」「SNSの運用」「ビジネスマナー」「マネタイズ」「ブランディング」「セルフプロデュース」「企画実行力」等を中心として、1人の活動でも事務所に所属しても、タレントとしてやっていけるスキルを学び、裏方でもやっていける実力を培う土台とする。						
到達目標	・インフルエンサーとして活動するための土台をつくる ・SNS活用のリスクを知った上で着実に伸ばす知識をつける ・自身で企画した配信やイベントを実行する力を培う ・将来を考えて目標を立て、それに向かって進む準備を整える						
評価方法と基準	出席 意欲 課題提出や実技等						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	前期の振り返り	前期学んで実行したことをまとめておく
2		講義・演習	前期の試験課題についての考察	様々なリスクについて意識してSNSを利用する
3		講義・演習	コラボ企画と大型企画	将来の目標について
4		講義・演習	コラボ企画立案①(企画)	コラボ企画をYouTube等で見てみる
5		講義・演習	コラボ企画立案②(計画/依頼/広報/プレスリリース)	次回の発表に向けた準備
6		講義・演習	コラボ企画立案③(発表)	やってみての振り返りを自分なりにまとめておく
7		講義・演習	業界に関わる職種	業界の裏方にどんな仕事があるか想像する
8		講義・演習	マネタイズとビジネス展開	ロールモデルの人がどう稼いでいるか考察する
9		講義・演習	サムネイルについての考察	YouTubeで伸びているものを見て学ぶ
10		講義・演習	トークスキルについての振り返りと1分間スピーチ	日頃から語れるネタを集めておく
11		講義・演習	ポートフォリオの必要性和制作	まとめられる実績は書き出しておく
12		講義・演習	2026年の目標設定と将来設計	2026年の目標を立てる
13		講義・演習	後期の振り返りとまとめ	最後に質問したい事をまとめておく
14		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	映像撮影編集(7)	必修 選択	選択	年次	4	担当教員	小野田奨
学科・専攻	スーパーeエンターテイメント科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴	主にMVやストリートダンス動画などを制作する動画クリエイターとして活躍。制作動画のジャンルは、Youtube動画、イベントや企業様のPR動画を行う。						
授業の学習 内容	映像制作を通して、撮影編集に関する基本的な知識・スキルを学ぶ						
到達目標	映像制作の基本的なテクニックを身に付け、 今後映像制作にかかわる際に役立てることができる						
評価方法と基準	課題 100%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	オリエンテーション	課題制作
2		講義・演習	PremierePro基礎①	課題制作
3		講義・演習	PremierePro基礎②	課題制作
4		講義・演習	MV制作①	課題制作
5		講義・演習	MV制作②	課題制作
6		講義・演習	カメラの取り扱いについて①	課題制作
7		講義・演習	カメラの取り扱いについて②	課題制作
8		講義・演習	Youtube動画制作①	課題制作
9		講義・演習	Youtube動画制作②	課題制作
10		講義・演習	Youtube動画制作③	課題制作
11		講義・演習	課題制作①	課題制作
12		講義・演習	課題制作②	課題制作
13		講義・演習	課題制作③	課題制作
14		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			授業において提示する課題を各授業後に90分以上取り組むこと	
【使用教科書・教材・参考書】				
指定教科書なし。必要に応じて資料を配付する。				

科目名	映像撮影編集(8)	必修 選択	選択	年次	4	担当教員	小野田奨
学科・専攻	スーパーeエンターテイメント科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴	主にMVやストリートダンス動画などを制作する動画クリエイターとして活躍。制作動画のジャンルは、Youtube動画、イベントや企業様のPR動画を行う。						
授業の学習 内容	映像制作を通して、撮影編集に関する基本的な知識・スキルを学ぶ						
到達目標	映像制作の基本的なテクニックを身に付け、 今後映像制作にかかわる際に役立てることができる						
評価方法と基準	課題 100%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	前期の振り返り	課題制作
2		講義・演習	SNS動画	課題制作
3		講義・演習	SNS動画	課題制作
4		講義・演習	三脚・ジンバルの使い方	課題制作
5		講義・演習	画角について	課題制作
6		講義・演習	撮影実践	課題制作
7		講義・演習	Ae基礎	課題制作
8		講義・演習	AfterEffects + 実写①	課題制作
9		講義・演習	AfterEffects + 実写②	課題制作
10		講義・演習	AfterEffects + 実写③	課題制作
11		講義・演習	課題制作①	課題制作
12		講義・演習	課題制作②	課題制作
13		講義・演習	課題制作③	課題制作
14		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			授業において提示する課題を各授業後に90分以上取り組むこと	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	コンサートテクニック(7) (PA ワークショップ(7))	必修 選択	選択	年次	4	担当教員	新部有亮
学科・専攻	スーパーeエンターテインメント科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	90 6単位		
教員の略歴	ROCK IN JAPAN FESTIVALやGOUNT DOWN JAPANなどのツアースタッフなどに参加。 中国、香港、台湾などのアジアの活動業務のプロジェクトマネージャーも担当し、世界で活躍するPAエンジニア。実務歴15年以上						
授業の学習 内容	学内イベントや学外イベント、ホール実習などを行なっていく中で基礎的な音響知識の実践を行なっていく。 打合せ、プランニング、仕込み、リハーサル、サウンドチェック、本番、バラシの一連の流れを実際のイベントを通して学び、経験とする。						
到達目標	PAスタッフとしての基礎的な現場力を身につけ、上級生が下級生に教える中から、自分自身の理解力をより深めると共に同セクション内の人間関係をも構築する。学内イベントやホール実習を通し、他セクション、ホールスタッフ、演者などとの良好な関係づくりを構築する中から、人としての成長を促し、業界で即戦力として活躍できる人材の育成を目指す。						
評価方法と基準	実技試験50% 筆記試験50%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	顔合わせ自己紹介、機材の持ち方と安全管理について学ぶ。	機材の持ち方と安全管理について復習レポートを作成。
2		講義・演習	マイクとスタンドの種類、ケーブルの巻き方を学ぶ。	マイクとスタンドの種類、ケーブルの巻き方について復習レポートを作成。
3		講義・演習	PA仕込みの練習を行なう。	PA仕込みについて復習レポートを作成。
4		講義・演習	仕込み練習・学園祭セクション決めを行なう。	学園祭セクションで打合せを行なう。
5		講義・演習	仕込み練習・学園祭プランを立てる。	学園祭プランを立てるための打合せや稽古立会い等を行なう。
6		講義・演習	学園祭反省会・明日への扉映像を見た上でセクションを決める。	学園祭反省会・明日への扉映像を見た上でセクションを決める。
7		講義・演習	仕込み練習/LIVE8を学ぶ。	仕込み練習/LIVE8を学ぶ。
8		講義・演習	仕込み練習/Work Benchを学ぶ。	仕込み練習/Work Benchを学ぶ。
9		講義・演習	仕込み練習/DVSを学ぶ。	仕込み練習/DVSを学ぶ。
10		講義・演習	外部ホール実習①外部ホールでの搬入搬出、仕込み、舞台機構、使用マナー等を学ぶ。	外部ホール実習①外部ホールでの搬入搬出、仕込み、舞台機構、使用マナー等を学ぶ。
11		講義・演習	ホール実習②外部ホールで音環境を理解する。	ホール実習②外部ホールで音環境を理解する。
12		講義・演習	ホール実習③外部ホールでのライブシミュレーションを行なう。	ホール実習③外部ホールでのライブシミュレーションを行なう。
13		講義・演習	明日への扉スタッフとして参加し、仕込み、リハーサルを行なう。	明日への扉スタッフとして参加し、仕込み、リハーサルを行なう。
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			授業内容の復習をレポートとして作成する。イベント等の打合せ、リハーサル立会い、プランニングや資料作成を行なう。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	コンサートテクニック(7) (照明ワークショップ(7))	必修 選択	選択	年次	4	担当教員	新部有亮
学科・専攻	スーパーeエンターテイメント科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	120 8単位		
教員の略歴	ROCK IN JAPAN FESTIVALやCOUNT DOWN JAPANなどのツアースタッフなどに参加。 中国、香港、台湾などのアジアの活動業務のプロジェクトマネージャーも担当し、世界で活躍するPAエンジニア。実務歴15年以上						
授業の学習 内容	学内イベントや学外イベント、ホール実習などを行なっていく中で基礎的な音響知識の実践を行なっていく。 進級制作展、卒業制作展を成功に導くためのプランニングやオペレーションを学ぶ。						
到達目標	PAスタッフとしての基礎的な現場力を身につけ、上級生が下級生に教える中から、自分自身の理解力をより深めると共に同 セクション内の人間関係をも構築することが出来る。学内イベントやホール実習を通し、他セクション、ホールスタッフ、演者な どとの良好な関係づくりを構築する中から、人としての成長を促し、業界で即戦力として活躍できる人材の育成を目指す。						
評価方法と基準	実技試験50% 筆記試験50%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	仕込練習/LS9の操作方法を修得する。	LS9の操作方法について復習レポートを作成。
2		講義・演習	仕込練習/X32の操作方法を修得する。	X32の操作方法について復習レポートを作成。
3		講義・演習	仕込練習/QL5の操作方法を修得する。	QL5の操作方法について復習レポートを作成。
4		講義・演習	仕込練習/CL5の操作方法を修得する。	CL5の操作方法について復習レポートを作成。
5		講義・演習	仕込練習/SD8の操作方法を修得する。	SD8の操作方法について復習レポートを作成。
6		講義・演習	外部ホール実習④外部ホールでのアコギ弾き語りライブシミュレーションを行なう。	外部ホールでのアコギ弾き語りライブについて復習レポートを作成。
7		講義・演習	外部ホール実習④外部ホールでのピアノ弾き語りライブシミュレーションを行なう。	外部ホールでのピアノ弾き語りライブについて復習レポートを作成。
8		講義・演習	ホール実習③外部ホールでのバンドライブシミュレーションを行なう。	外部ホールでのバンドライブについて復習レポートを作成。
9		講義・演習	We are TSM渋谷のセクション決めを行ない、打合せをする。	セクションごとの打合せ内容をまとめ資料を作成する。
10		講義・演習	We are TSM渋谷打合せ、プランニングをする。	We are TSM渋谷プランの整理をする。
11		講義・演習	We are TSM渋谷リハーサルを行なう。(1)	We are TSM渋谷リハーサルについて修正変更点をまとめる。
12		講義・演習	We are TSM渋谷リハーサルを行なう。(2)	We are TSM渋谷リハーサルについて修正変更点をまとめる。
13		講義・演習	We are TSM渋谷に参加し、プランニング、リハーサル立会い、資料作成を行なう。	明日への扉スタッフとして参加し、仕込み、リハーサルを行なう。
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			授業内容の復習をレポートとして作成する。イベント等の打合せ、リハーサル立会い、プランニングや資料作成を行なう。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	コンサートテクニック(7) (舞台制作ワークショップ(7))	必修 選択	選択	年次	4	担当教員	北英樹
学科・専攻	スーパーeエンターテイメント科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	90 6単位		
教員の略歴	コンサートや演劇、イベント等の舞台監督として活動。実務歴35年以上						
授業の学習 内容	テキストを中心に舞台の基礎を学び、アイドルイベントやお笑いイベント、学園祭、明日への扉公演の舞台監督、舞台制作スタッフに必要な知識と技術を実践的に学ぶ。						
到達目標	●知識と基に、作業工程や操作法を身につけることができる。 ●舞台全体を把握できる能力を身に付けることができる。 ●座学と実習を繰り返して、舞台監督としての成長を目指す。						
評価方法と基準	実技試験50% 筆記試験50%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	前期講義と舞台制作についての概要説明のオリエンテーションを行う。	自己紹介内容の準備をする。
2		講義・演習	基本用語(舞台用語)を学ぶ。	スタッフ赤本の復習レポート作成と予習
3		講義・演習	基本用語(舞台セット)を学ぶ。	スタッフ赤本の復習レポート作成と予習
4		講義・演習	基本用語(舞台進行)を学ぶ。	イベント打合せ、資料の作成
5		講義・演習	学園祭準備を通して制作を学ぶ。	イベント打合せ、資料の作成
6		講義・演習	学園祭反省会と引き継ぎ作業を行う。	学園祭時に使用した資料の整理をする。
7		講義・演習	基本用語(各セクション)を学ぶ。	実習準備
8		講義・演習	舞台備品(箱馬・平台)について理解する。	実習準備
9		講義・演習	舞台備品(幕)について理解する。	イベント打合せ、資料の作成
10		講義・演習	舞台備品(ステージ設営)について理解する。	イベント打合せ、資料の作成
11		講義・演習	舞台備品(大道具部材)について理解する。	授業内容を復習しレポートを作成。
12		講義・演習	舞台備品(繋ぐ・切る・結ぶ)について理解する。	授業内容を復習しレポートを作成。
13		講義・演習	明日への扉の舞台演出部として参加。ミュージカル舞台の仕込み、進行、転換等を実践的に学ぶ。	打合せ、稽古立会い、資料の作成。
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			授業内容の復習レポートを作成し、イベントの打合せ、タイムテーブルや進行表等の資料作成を行う。	
【使用教科書・教材・参考書】				
スタッフ赤本・コース教材(メジャー・手袋・カッター)				

科目名	コンサートテクニック(7) (機材メンテナンス(7))	必修 選択	選択	年次	4	担当教員	小林寛太郎
学科・専攻	スーパーeエンターテイメント科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴	2003年よりPA業務に従事。						
授業の学習 内容	基礎的な工具の使い方やハンダづけなどを習得し、日頃使用する機材のメンテナンス方法を学ぶことで、機材に対する知識と愛情を深めていく。						
到達目標	学んだ知識と技術を基に、日常使用する機材の保守メンテナンスを自ら行えるようにする。						
評価方法と基準	筆記試験 50% 実技試験 50%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	工具の種類と用途を理解し、注意すべき点を把握する。	工具の種類と用途についての復習レポートを作成。
2		講義・演習	半田付け①下処理を学ぶ。	半田付けの下処理について復習レポートを作成。
3		講義・演習	半田付け②キャノンフォンとケーブルの半田付けを学ぶ。	キャノンフォンとケーブルの半田付けについて復習レポートを作成。
4		講義・演習	半田付け③プラグとケーブルの半田付けを学ぶ。	プラグとケーブルの半田付けについて復習レポートを作成。
5		講義・演習	半田付け④NL4の半田付けを学ぶ。	NL4の半田付けについて復習レポートを作成。
6		講義・演習	マイクロフォンのメンテナンス方法を学ぶ。	マイクロフォンのメンテナンス方法について復習レポートを作成。
7		講義・演習	マイクスタンドのメンテナンス方法を学ぶ。	マイクスタンドのメンテナンス方法について復習レポートを作成。
8		講義・演習	パワーアンプのメンテナンス方法を学ぶ。	パワーアンプのメンテナンス方法について復習レポートを作成。
9		講義・演習	ケーブル類のメンテナンスを学ぶ(1)	ケーブル類のメンテナンスについて復習レポートを作成。
10		講義・演習	ケーブル類のメンテナンスを学ぶ(2)	ケーブル類のメンテナンスについて復習レポートを作成。
11		講義・演習	デジタルミキサーのメンテナンスを学ぶ。	デジタルミキサーのメンテナンスについて復習レポートを作成。
12		講義・演習	デジタルデータの整理方法を学ぶ。	デジタルデータの整理方法について復習レポートを作成。
13		講義・演習	明日への扉で使用する音響機材のメンテナンスを事前に行なう。	メンテナンスした機材のリストを整理する。
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			授業内容についての復習レポートを作成し、学校のPA機材のメンテナンスを各自で行なう。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	コンサートテクニック(8) (PA ワークショップ(8))	必修 選択	選択	年次	4	担当教員	新部有亮
学科・専攻	スーパーeエンターテインメント科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	120 8単位		
教員の略歴	ROCK IN JAPAN FESTIVALやCOUNT DOWN JAPANなどのツアースタッフなどに参加。 中国、香港、台湾などのアジアの活動業務のプロジェクトマネージャーも担当し、世界で活躍するPAエンジニア。実務歴15年以上						
授業の学習 内容	学内イベントや学外イベント、ホール実習などを行なっていく中で基礎的な音響知識の実践を行なっていく。 進級制作展、卒業制作展を成功に導くためのプランニングやオペレーションを学ぶ。						
到達目標	PAスタッフとしての基礎的な現場力を身につけ、上級生が下級生に教える中から、自分自身の理解力をより深めると共に同 セクション内の人間関係をも構築することが出来る。学内イベントやホール実習を通し、他セクション、ホールスタッフ、演者な どとの良好な関係づくりを構築する中から、人としての成長を促し、業界で即戦力として活躍できる人材の育成を目指す。						
評価方法と基準	実技試験50% 筆記試験50%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	仕込練習/LS9の操作方法を修得する。	LS9の操作方法について復習レポートを作成。
2		講義・演習	仕込練習/X32の操作方法を修得する。	X32の操作方法について復習レポートを作成。
3		講義・演習	仕込練習/QL5の操作方法を修得する。	QL5の操作方法について復習レポートを作成。
4		講義・演習	仕込練習/CL5の操作方法を修得する。	CL5の操作方法について復習レポートを作成。
5		講義・演習	仕込練習/SD8の操作方法を修得する。	SD8の操作方法について復習レポートを作成。
6		講義・演習	外部ホール実習④外部ホールでのアコギ弾き語りライブシミュレーションを行なう。	外部ホールでのアコギ弾き語りライブについて復習レポートを作成。
7		講義・演習	外部ホール実習④外部ホールでのピアノ弾き語りライブシミュレーションを行なう。	外部ホールでのピアノ弾き語りライブについて復習レポートを作成。
8		講義・演習	ホール実習③外部ホールでのバンドライブシミュレーションを行なう。	外部ホールでのバンドライブについて復習レポートを作成。
9		講義・演習	We are TSM渋谷のセクション決めを行ない、打合せをする。	セクションごとの打合せ内容をまとめ資料を作成する。
10		講義・演習	We are TSM渋谷打合せ、プランニングをする。	We are TSM渋谷プランの整理をする。
11		講義・演習	We are TSM渋谷リハーサルを行なう。(1)	We are TSM渋谷リハーサルについて修正変更点をまとめる。
12		講義・演習	We are TSM渋谷リハーサルを行なう。(2)	We are TSM渋谷リハーサルについて修正変更点をまとめる。
13		講義・演習	We are TSM渋谷に参加し、プランニング、リハーサル立会い、資料作成を行なう。	明日への扉スタッフとして参加し、仕込み、リハーサルを行なう。
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			授業内容の復習をレポートとして作成する。イベント等の打合せ、リハーサル立会い、プランニングや資料作成を行なう。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	コンサートテクニック(8) (照明ワークショップ(8))	必修 選択	選択	年次	4	担当教員	橋本真也
学科・専攻	スーパーeエンターテイメント科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	120 8単位		
教員の略歴	ライブ、コンサート、お芝居、施設照明のプラン、ムービングライトのオペレートを行う。						
授業の学習 内容	舞台照明の仕事をするにあたり基礎を踏まえた内容の授業をメインとし現場で求められる人間性、技術力、行動力などの人材育成を目的とした実習としベーシック、アドバンスを活かした現場総合力を身につけるための授業。実習を繰り返すことで現場で求められる基礎知識と動きなどを覚え即戦力になる人材を育成する。						
到達目標	照明基礎のベーシック、アドバンスを活かしたより実践的な技術の習得と学年を超えた照明スタッフとしてのコミュニケーション力を学び、より現場らしい業務内容の体験の中で社会人になる意識を持つことができる。 メンテナンスを通じて器材の仕組みや工具の使い方を学ぶ。仕込みバラシと明かり作り作業の反復練習で照明効果の理解を深める。						
評価方法と基準	実技試験50% 筆記試験50%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	仕込みバラシをしてみよう力等を身につける	仕込み図を完成させ当日発表
2		講義・演習	照明についてのメンテナンス技術を身につける	工具を持ってくる準備
3		講義・演習	仕込みバラシをしてみよう力等を身につける	仕込み図を完成させ当日発表
4		講義・演習	内容考察や符割りプランニングなどの理解する	資料
5		講義・演習	仕込みバラシをしてみよう力等を身につける	仕込み図を完成させ当日発表
6		講義・演習	課題曲や個人選曲で発表する	選曲
7		講義・演習	仕込みバラシをしてみよう力等を身につける	仕込み図を完成させ当日発表
8		講義・演習	課題曲や個人選曲で発表する	選曲
9		講義・演習	仕込みバラシをしてみよう力等を身につけること	仕込み図を完成させ当日発表
10		講義・演習	課題曲や個人選曲で発表する	選曲
11		講義・演習	卒業公演に向けての机上準備を学ぶ	各種資料
12		講義・演習	後期まとめとして質問や復習	教科書ノートなどのおさらい
13		講義・演習	進級卒業制作展の照明スタッフとして参加し、実際の現場で必要となる照明の仕込み、扱い方、プラン、イメージを理解する。	現場において気付いた事柄をまとめてレポート提出する。
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			常に帰ってからの復習と理解を深め実習での動きにだせるように	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	コンサートテクニック(8) (舞台制作ワークショップ(8))	必修 選択	選択	年次	4	担当教員	北英樹
学科・専攻	スーパーeエンターテインメント科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	90 6単位		
教員の略歴	コンサートや演劇、イベント等の舞台監督として活動。実務歴35年以上						
授業の学習 内容	アイドルイベントやお笑いイベント等を通して舞台監督、舞台制作スタッフに必要な知識と技術を実践的に学ぶ。 また、実習にて舞台機構を操作し習得する。 卒業進級制作展に向けての打合せや作業を行なう。						
到達目標	舞台公演に必要な知識・使用操作方技術を身につけ、公演の進行を自分自身で行えるようになる。						
評価方法と基準	実技試験50% 筆記試験50%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	前期授業の振り返りと後期講義のオリエンテーションを行う。	PC操作・スタッフ赤本の復習
2		講義・演習	卒業進級制作展開催役割分担を行い、組織体制作りを学ぶ。	授業内容の整理。
3		講義・演習	地衞り・カーペットを敷くスキルを学ぶ。	授業内容の復習レポートを作成。
4		講義・演習	幕を吊る・道具を飾るスキルを学ぶ。	授業内容の復習レポートを作成。
5		講義・演習	コンサートホールを理解し、舞台セットを考察する。	授業内容の復習、資料のまとめをレポートとして作成。
6		講義・演習	学内イベントの舞台進行を実践的に学ぶ。	実習準備をする。
7		講義・演習	学内イベントの舞台進行を実践的に学ぶ。	実習準備をする。
8		講義・演習	卒業進級制作展の制作スケジュールを管理し、演出内容について考察する。	打合せ、資料作成。
9		講義・演習	卒業進級制作展リハーサルの資料作成と舞台進行を行う①。	打合せ、資料作成し、仕込み作業を行う。
10		講義・演習	卒業進級制作展リハーサルの資料作成と舞台進行を行う②。	資料作成、会場仕込み、撤去作業。
11		講義・演習	卒業進級制作展リハーサルの資料作成と舞台進行を行う③。	資料作成、会場仕込み、撤去作業。
12		講義・演習	進級制作展の資料作成とリハーサル、本番の舞台進行を行う④。	資料作成、会場仕込み、撤去作業。
13		講義・演習	卒業進級制作展の資料作成とリハーサル、本番の舞台進行を行う⑤。	打合せ、リハーサル立会い、資料の作成。
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			授業内容の復習レポートを作成し、イベントの打合せ、タイムテーブルや進行表等の資料作成を行なう。	
【使用教科書・教材・参考書】				
スタッフ赤本・コース教材(メジャー・手袋・カッター)				

科目名	コンサートテクニック(8) (機材メンテナンス(8))	必修 選択	選択	年次	4	担当教員	小林寛太郎
学科・専攻	スーパーeエンターテイメント科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴	2003年よりPA業務に従事。						
授業の学習 内容	基礎的な工具の使い方やハンダづけなどを習得し、日頃使用する機材のメンテナンス方法を学ぶことで、機材に対する知識と愛情を深めていく。						
到達目標	学んだ知識と技術を基に、日常使用する機材の保守メンテナンスを自ら行えるようにする。						
評価方法と基準	筆記試験 50% 実技試験 50%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	工具の種類と用途を理解し、注意すべき点を把握する。	工具の種類と用途についての復習レポートを作成。
2		講義・演習	半田付け①下処理を学ぶ。	半田付けの下処理について復習レポートを作成。
3		講義・演習	半田付け②キャノンフォンとケーブルの半田付けを学ぶ。	キャノンフォンとケーブルの半田付けについて復習レポートを作成。
4		講義・演習	半田付け③プラグとケーブルの半田付けを学ぶ。	プラグとケーブルの半田付けについて復習レポートを作成。
5		講義・演習	半田付け④NL4の半田付けを学ぶ。	NL4の半田付けについて復習レポートを作成。
6		講義・演習	マイクロフォンのメンテナンス方法を学ぶ。	マイクロフォンのメンテナンス方法について復習レポートを作成。
7		講義・演習	マイクスタンドのメンテナンス方法を学ぶ。	マイクスタンドのメンテナンス方法について復習レポートを作成。
8		講義・演習	パワーアンプのメンテナンス方法を学ぶ。	パワーアンプのメンテナンス方法について復習レポートを作成。
9		講義・演習	ケーブル類のメンテナンスを学ぶ(1)	ケーブル類のメンテナンスについて復習レポートを作成。
10		講義・演習	ケーブル類のメンテナンスを学ぶ(2)	ケーブル類のメンテナンスについて復習レポートを作成。
11		講義・演習	デジタルミキサーのメンテナンスを学ぶ。	デジタルミキサーのメンテナンスについて復習レポートを作成。
12		講義・演習	デジタルデータの整理方法を学ぶ。	デジタルデータの整理方法について復習レポートを作成。
13		講義・演習	明日への扉で使用する音響機材のメンテナンスを事前に行なう。	メンテナンスした機材のリストを整理する。
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			授業内容についての復習レポートを作成し、学校のPA機材のメンテナンスを各自で行なう。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	コンサートテクニック(8) (イベントスタッフワーク(8))	必修 選択	選択	年次	4	担当教員	大島直子
学科・専攻	スーパーeエンターテインメント科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 4単位		
教員の略歴	イベントやコンサートの制作・進行、事務局、発表会、企業物などオールジャンルの仕事をする。実務歴15年以上。						
授業の学習 内容	卒業制作であり、「weareTSM渋谷!DA TOKYO!」のイベントにおける制作業務を学び、報告書の作成を学ぶ。1年間の集大成のイベントを各学科・コースや合同日(葛西校)を連携しながら、進行及び制作業務を行う。						
到達目標	各学科・コースの枠を超えて、 イベントを新規で作り上げていく為のコミュニケーション能力を身につけることができる。 イベント本番の役割をシミュレーションし、事前準備の大切さや見やすい資料作成の基本を習得することができる。						
評価方法と基準	実技試験(イベントでの制作業務と作成された報告書を評価する。) 50% 資料作成のレポート提出を評価 50%						

授業計画・内容					
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)	
1		講義・演習	「weareTSM渋谷!DA TOKYO!」の概要説明、舞台・制作・運営のチーム分け、演目担当分け、各担当ごとに連絡先交換と各グループで挨拶を行う。	今後1つのチームとして作業するため、授業以外でもコミュニケーションをとる意識を持つ。	
2		講義・演習	「weareTSM渋谷!DA TOKYO!」の演目について理解する。	授業内容について復習しレポートを作成。	
3		講義・演習	「weareTSM渋谷!DA TOKYO!」の昨年の映像確認し、内容を把握する。	映像データを管理し、いつでも見れる見せられる環境を整えておく。	
4		講義・演習	「weareTSM渋谷!DA TOKYO!」の昨年の映像確認と舞台監督と制作の役割・内容を理解する。	映像データを管理し、いつでも見れる見せられる環境を整えておく。	
5		講義・演習	各演目担当チームごとに、担当教務に挨拶に行く。	イベント資料を管理し、チームで共有する環境を整えておく。	
6		講義・演習	各演目の現状確認(報告会)、昨年の反省点の確認・改善点を共有する。	申し送り事項について復習しレポートを作成。	
7		講義・演習	各演目の現状確認(報告会)、昨年の反省点の確認・改善点を共有する。	※舞台・運営と合同ミーティング情報共有をする。	
8		講義・演習	各演目の現状確認(報告会)、必要資料を作成する。リハーサルに向けての資料作り・控室おさへを行う。	授業内容について復習しておく。	
9		講義・演習	各演目の現状確認(報告会)、必要資料を作成する。リハーサルに向けての資料作り・控室おさへを行う。	資料作成。	
10		講義・演習	各演目の現状確認(報告会)、必要資料を作成する。リハーサルに向けての資料作り・控室おさへを行う。	資料作成。	
11		講義・演習	各演目の現状確認(報告会)、必要資料を作成する。リハーサルに向けての資料作り・控室おさへを行う。	資料作成。	
12		講義・演習	「weareTSM渋谷!DA TOKYO!」の制作スタッフとしてイベントに取り組む。	打合せ、資料等を完成させ、イベントの成功を目指す準備をしっかりと行なう。	
13		講義・演習	「weareTSM渋谷!DA TOKYO!」の制作スタッフとしてイベントに取り組む。	打合せ、資料等を完成させ、イベントの成功を目指す準備をしっかりと行なう。	
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出	
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出	
準備学習 時間外学習			打合せや授業内容についての資料やレポートを作成。		
【使用教科書・教材・参考書】					